

2025年 研究業績

[Researches and Social Works in 2025]

研究業績

■ 河田 惠 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 阪神・淡路大震災から30年を迎えて	単著	2025年1月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life No.705, p.22
都市災害の過程でわかった都市づくり、地 域づくりの困難さ ～阪神・淡路大震災が 出発点～	単著	2025年1月1日	公益財団法人 都市 計画協会	新都市 pp.5-15
最新の南海トラフ地震に向けた心構え そ の1	単著	2025年1月1日	公益財団法人 兵庫 県生きがい創造協会	ひょうごラジオカレッジ 第48巻第9号, p.19
『考える』という習慣	単著	2025年1月5日	山陰政経研究所	旬刊 政経レポート第49巻第1号, p.37
ともに復興へ 大学がつなぐ復興へのパト ン—— 阪神・淡路大震災から30年——	単著	2025年1月20日	日本私立大学連盟	大学時報 第74巻, No.420, pp.20-35
不完全な「相転移」にとどめれば被害は少 なくなる	単著	2025年1月20日	日本経済新聞社	日経グローバル No.500, pp.48-49
悩んでこそ新たな研究成果が得られる	単著	2025年2月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life No.706, p.22
最新の南海トラフ地震に向けた心構え そ の2	単著	2025年2月1日	公益財団法人 兵庫 県生きがい創造協会	ひょうごラジオカレッジ 第48巻, 第10 号, p.19
「相転移」の誤解なき普及が災害被害を低減 させる	単著	2025年2月17日	日本経済新聞社	日経グローバル No.502, pp.42-43
あらゆる分野でIT化が遅れていてもあえて 気にしない！	単著	2025年3月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life No.707, p.22
巻頭言「阪神・淡路大震災がきっかけで発 見した社会現象の「相転移」	単著	2025年3月1日	公益財団法人ひょう ご震災記念21世紀研 究機構	21世紀ひょうご Vol.38, pp.1-2
相転移の典型例だったロサンゼルス山火 事	単著	2025年3月17日	日本経済新聞社	日経グローバル No.504, pp.42-43
わが国の防災体制の提言	単著	2025年3月31日	政策研究センター	日本の公共事業 '24 pp.12-17
「金儲けして豊かになる」だけを目的にする 経済運営は破綻する	単著	2025年4月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life No.708, p.22
自然・社会現象の両「相転移」を利用した 新たな事前防災	単著	2025年4月21日	日本経済新聞社	日経グローバル No.506, pp.38-39
災害体験の伝承～阪神・淡路大震災から30 年の軌跡～	単著	2025年4月25日	一般社団法人 住宅 生産団体連合会	住団連 Vol.343, pp.2-10
消すことが困難な山林火災	単著	2025年5月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life No.709, p.22
防災庁設置を契機に事後防災から事前防災 へ	単著	2025年5月19日	日本経済新聞社	日経グローバル No.508, pp.38-39
国難災害では災害関連死が最悪の犠牲者数 になってしまう	単著	2025年6月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life No.710, p.22
南海トラフ地震の被害想定 災害関連死を 過小評価	単著	2025年6月16日	日本経済新聞社	日経グローバル No.510, pp.54-55
大久保利通の暗殺と防災庁の創設	単著	2025年7月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life No.711, p.22
「社会現象としての相転移」発見は事前防災 の切り札	単著	2025年7月15日	NIRA 総合研究開発 機構	日本と世界の課題2025 p.104
防災庁の成否を左右する地方分局の必要条 件	単著	2025年7月21日	日本経済新聞社	日経グローバル No.512, pp.54-55
本気の事前防災を実現できる防災庁『社会 現象の相転移』の適用	単著	2025年7月22日	公益社団法人 日本 ファシリティマネジ メント協会	ジャフマジャーナル No.219, pp.12-15
防災庁の地方組織をどう考えるか	単著	2025年8月1日	ウオータアンドライ フ社	Water&Life No.712, p.22
防災力強化には憲法改正が必要 手続き論 に終始し議論進まぬ国会	単著	2025年8月18日	日本経済新聞社	日経グローバル No.514, pp.36-37

文部科学省の偏った防災研究支援体制	単著	2025年9月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.713, p.22
Interview 何が起るのか明らかにして対策を“本気の事前防災”が重要に	単著	2025年9月12日	(株)創樹社	ハウジング トリビューン No.15, 16, Vol.709, pp.54-55
事前防災を成功させる 相転移による被害の評価	単著	2025年9月15日	日本経済新聞社	日経グローバル No.516, pp.38-39
地震時の都市機能のマヒの予感 下水道不全がもたらす巨大被害	単著	2025年10月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.714, p.22
山積している未解決問題を解く	単著	2025年10月1日	一般財団法人 日本建築構造技術者協会	structure No.176, p.24-25
日本の防災・減災対策の現在地——今、必要な「本気の事前防災とは」——	単著	2025年10月1日	インナートリップ・イデオログ・リサーチ・センター (IIC)	マンスリー IIC No.593, pp.1-2
災害の「相転移」が教えるこれからの防災対策	単著	2025年10月20日	日本経済新聞社	日経グローバル No.518, pp.34-35
災害と事前情報の関係の難しさ	単著	2025年11月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.715, p.22
2026年度に創設する「防災庁」の基本理念	単著	2025年11月17日	日本経済新聞社	日経グローバル No.520, pp.32-33
感謝！私の防災研究人生50年	単著	2025年11月20日	(一財) 消防防災科学センター	消防防災の科学 秋号 pp.2-5
社会インフラの一層の充実を訴え続ける有識者の不見識	単著	2025年12月1日	ウオータアンドライフ社	Water&Life No.716, p.22
このままでは避けられない南海トラフ地震の巨大被害	単著	2025年12月15日	日本経済新聞社	日経グローバル No.522, pp.44-45
(その他、論考・研究資料等)				
ぼうさい甲子園・ポスコン表彰式		2025年1月6日	兵庫ジャーナル	
小林郁雄さんしのぶ会		2025年1月7日	神戸新聞	
よみうり防災フォーラム 備え、教訓 若い世代に		2025年1月14日	読売新聞	
災害活動の指揮権 議論を		2025年1月15日	産経新聞	
「防災庁」実現へ 五百旗頭さんの努力報われる		2025年1月15日	読売新聞	
阪神・淡路大震災30年をふまえた人と防災未来センターの活動概要と今後の方向性——災害大国から防災大国へと進化する——		2025年1月16日	水道産業新聞	
創造的復興に「終わりなし」		2025年1月17日	建設通信新聞	
阪神・淡路大震災から30年災害を“わがこと”とする想像力		2025年1月17日	聖教新聞	
両陛下、復興にねぎらい 兵庫津ミュージアム震災特別展示		2025年1月17日	朝日新聞	
両陛下、復興に心寄せ 兵庫津ミュージアム震災特別展示		2025年1月17日	神戸新聞	
記者の目 記憶を継承「生きる知恵に」		2025年1月17日	毎日新聞	
阪神大震災きょう30年		2025年1月17日	読売新聞	
創造的復興に「終わりなし」		2025年1月17日	建設通信新聞	
あの日から30年の社会 耕論		2025年1月18日	朝日新聞	
常二備へヨ 阪神大震災30年を問う		2025年1月20日	産経新聞	
五百旗頭真と小田実がいた		2025年1月21日	朝日新聞	
防災庁 役割・権限を検討		2025年1月31日	読売新聞	
国際復興フォーラム2025特集		2025年2月3日	兵庫ジャーナル	
日々小論 100年可能説		2025年2月4日	神戸新聞	
続く復興、目標は時代とともに		2025年2月10日	朝日小学生新聞	
よみうり防災フォーラム2025		2025年2月11日	読売新聞	
防災庁の実現、五百旗頭先生への恩返し		2025年3月1日	読売新聞オンライン	
オピニオン論点：巨大災害への備え		2025年3月14日	毎日新聞	

研 究 業 績

島民ら350人防災訓練 玄海島		2025年3月21日	日本経済新聞	
「梅雨激甚化の考慮必要」気候変動適応フォーラム		2025年3月24日	水道産業新聞	
巨大地震にどう備える		2025年4月1日	神戸新聞	
ミニ論点 高齢者に生きる力を		2025年4月1日	毎日新聞	
特撮「1.17」防災の一助に		2025年5月1日	神戸新聞	
「イキイキフェス2025」講演 ふたば学舎		2025年5月8日	神戸新聞	
国難想定した防災体制を		2025年5月19日	神戸新聞	
「ほうさい甲子園」募集		2025年6月13日	毎日新聞	
神戸酒心館 限定酒完売 震災関連団体に全額寄付		2025年8月14日	神戸新聞	
これまでの災害を踏まえた上下水道の防災対策		2025年9月1日	水道産業新聞	
南海トラフ発生確率見直し 備え見直すチャンス		2025年9月27日	産経新聞	
「必ずおこる」準備怠らずに 南海トラフ		2025年9月27日	神戸新聞	
自治体災害対策全国会議 予防力と回復力重要		2025年10月9日	読売新聞	
阪神大震災時の首相村山富市さん死去		2025年10月18日	朝日新聞	
住宅耐震化 必要性訴え		2025年10月24日	神戸新聞	
自治体災害対策全国会議 公助・共助・自助 事前に分担		2025年11月4日	読売新聞	
MESSAGE——戦後80年—— 災害列島「想定外」を断つ		2025年11月15日	日本経済新聞	
青森震度6強 最大津波、多くは1～3時間後		2025年12月12日	神戸新聞	
津波第1波から最大波「1時間超」多く避難長時間も		2025年12月13日	日本経済新聞	
数字に表れない「連鎖・複合被害」に備えを		2025年12月20日	日本経済新聞(電子版)	
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(招待講演)				
30年間の復興と未来へ、そして南海トラフ巨大地震の最新状況	単独	2025年1月13日	読売新聞	よみうり防災フォーラム2025 ハーバーホール(神戸市中央区)
岡山県における自然災害とその対応	単独	2025年1月22日	岡山県	トップフォーラムin岡山 れじょんホール(岡山市北区)
こころ豊かな社会を実現できる防災教育	単独	2025年1月24日	兵庫県教育委員会	震災30年防災教育「絆」フォーラム あましんアルカイクホール(兵庫県尼崎市)
阪神・淡路大震災30年後の創造的復興の先導～Sustainable Recovery Initiatives after 1995 Kobe Earth.	単独	2025年1月28日	国際復興支援プラットフォーム(IRP)	IRPフォーラム 神戸ポートピアホテル(神戸市中央区)
学校における防災、減災、危機管理について	単独	2025年2月1日	大阪府学校薬剤師会	大阪府学校薬剤師会創立70周年記念講演会 ホテルアウィーナ大阪(大阪市天王寺区)
防災庁の実現に向かって	単独	2025年2月4日	(株)ニュージェック	(株)ニュージェック記念講演会 (株)ニュージェック本社(大阪市北区)
新設防災省が世界各国の減災に貢献できる	単独	2025年2月7日	「震災対策技術展」事務局	震災対策技術展横浜 パシフィコ横浜(横浜市西区)
防災省の創設実現に向かって	単独	2025年2月7日	関西広域連合	震災対策技術展横浜 パシフィコ横浜(横浜市西区)
阪神・淡路大震災から30年の研究成果	単独	2025年2月9日	国際ロータリークラブ淡路グループ	国際ロータリークラブ淡路グループフォーラム グランドニッコー淡路(淡路市)
災害に強いマンションライフ	単独	2025年2月16日	オリックス不動産	なかもずALLZ防災講演会 なかもずALLZエントランスホール(堺市北区)
奈良県における防災対策を考える	単独	2025年2月18日	奈良県経済倶楽部/法華寺	奈良県経済倶楽部講演会 奈良県経済倶楽部(奈良市)

危機管理総論	単独	2025年2月23日	日本危機管理士機構	危機管理士講座 ワイム貸会議室（東京都千代田区）
都市生活の理想的な防災を実現するために	単独	2025年2月24日	モラロジー協会東大阪支部	モラロジー防災・減災セミナー 大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）
防災庁の創設実現に向かって	単独	2025年3月3日	(一社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)	JAPIC 防災委員会 鉄鋼会館（東京都中央区）
防災庁の創設実現に向かって	単独	2025年3月4日	特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構(CDR)	CDR 叙勲祝賀記念講演会 マイドームおおさか（大阪府中央区）
巨大地震に企業はどう立ち向かうのか	単独	2025年3月6日	広島経済同友会	広島経済同友会幹事会 ANA クランプラザホテル広島（広島市）
「被災すること」への思い	単独	2025年3月10日	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	シンポジウム 防災と倫理 人と防災未来センター心のシアター（神戸市中央区）
災害が在宅医療に及ぼす影響	単独	2025年3月15日	福岡市博多区医師会	第5回博多区地域包括ケアシステムフォーラム 福岡商工会議所（福岡市中央区）
福岡県西方沖地震から20年『これまで』と『これから』	単独	2025年3月20日	福岡市	「市民防災の日」講演会 エルガーラ福岡（福岡市中央区）
地震災害から命を守る	単独	2025年4月12日	奈良新聞社	奈良新聞防災セミナー 奈良商工会議所（奈良市）
防災庁の創設に向かって	単独	2025年4月17日	防犯防災総合展	防犯防災総合展大阪 インテックス大阪（大阪府住之江区）
防災庁の創設実現に向かって	単独	2025年4月17日	関西広域連合	防犯防災総合展大阪 インテックス大阪（大阪府住之江区）
危機管理Ⅱ	単独	2025年4月24日	総務省消防大学校	
市民ができる防災のあり方——震災の多い国に生きるということ——	単独	2025年5月4日	つなぐプロジェクト実行委員会	つなぐプロジェクト——イキイキフェス2025——大人の小学校@神戸編 ふたば学舎（神戸市長田区）
災害時における議会の役割	単独	2025年5月9日	加古川市	加古川市議会議員研修 SHOWA グループ市民会館（兵庫県加古川市）
錦中学校の生徒の皆さんに伝えたい防災の大切さ	単独	2025年5月24日	守口市立錦中学校	守口市立錦中学校防災講話 守口市立錦中学校（大阪府守口市）
「本気の事前防災」を実現する	単独	2025年5月27日	建設コンサルタント協会近畿支部	阪神・淡路30年講演会 うめきた GRAN GREEN OSAKA 北館JAM BASE（大阪府北区）
防災庁の挑戦——世界の防災大国をめざして——	単独	2025年5月29日	日本経済新聞社	「SDGs Week EXPO 2025」プレカンファレンス Zoom 収録（Zoom）
南海トラフ地震対処における地震防災の実効性向上について	単独	2025年6月6日	陸上自衛隊中部方面総監部	陸上自衛隊自治体意見交換会 都ホテル尼崎（兵庫県尼崎市）
南海トラフ巨大地震と社会経済被害に伴う相転移～兵庫県内企業・製造所の影響と対策を考える～	単独	2025年6月12日	兵庫県高圧ガス協会	第16回兵庫県高圧ガス総会・第54回保安責任者大会 ホテルオークラ神戸（神戸市中央区）
防災庁の創設による国難災害・南海トラフ地震の縮災	単独	2025年6月16日	人と防災未来センター	運営ボランティア研修 人と防災未来センター（神戸市中央区）
防災庁創設の準備状況について	単独	2025年6月17日	(一社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)	JAPIC 防災委員会 鉄鋼会館（東京都中央区）
地域活動やボランティア活動に役立つ防災の知識	単独	2025年7月2日	日本赤十字社大阪府支部	地域赤十字奉仕団ボランティア研修 大阪赤十字会館（大阪府中央区）
本気の事前防災を成功させる	単独	2025年7月3日	「震災対策技術展」事務局	震災対策技術展大阪 マイドームおおさか（大阪府中央区）
増加する災害関連死をいかに考えるのか？	単独	2025年7月3日	LSO	第582回市民フォーラム 大阪商工会議所（大阪府中央区）
防災庁の創設実現に向かって	単独	2025年7月4日	関西広域連合	震災対策技術展大阪 マイドームおおさか（大阪府中央区）
CeMIの『発足・これまで』と『これから』	単独	2025年7月11日	特定非営利活動法人環境防災総合政策研究機構	CeMI 叙勲記念講演会 主婦会館プラザエフ（東京都千代田区）

研究業績

『相転移』を活用した本気の事前防災～新設する防災庁に期待する～	単独	2025年8月4日	防災ログ	防災・減災オンラインセミナー Zoom 収録
日本に大災害の備えはあるのか	単独	2025年8月7日	ニューレジリエンスフォーラム	ニューレジリエンスフォーラム沖縄大会 那覇商工会議所（沖縄県那覇市）
佐賀県における自然災害とその対応	単独	2025年8月21日	佐賀県	トップフォーラム in 佐賀
危機管理総論	単独	2025年8月24日	日本危機管理士機構	危機管理士講座 ワイム貸会議室（東京都千代田区）
新設予定の防災庁に関する最新情報	単独	2025年9月2日	(一社)日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)	JAPIC 防災委員会 鉄鋼会館（東京都中央区）
国難と地域の災害に備える	単独	2025年9月6日	兵庫県	ひょうご防災リーダー養成講座 兵庫県立広域防災センター（兵庫県三木市）
『本気の事前防災』を実現できる防災庁の挑戦	単独	2025年9月12日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部東京シンポジウム 関西大学東京センター（東京都千代田区）
南海トラフ地震の発生に対処する～防災庁による「相転移」を利用した被害軽減	単独	2025年9月16日	共同通信社	山陽時事問題懇談会9月例会 倉敷アイビースクエア（岡山県倉敷市）
南海トラフ地震の発生に対処する～防災庁による「相転移」を利用した被害軽減	単独	2025年9月16日	共同通信社	山陽時事問題懇談会9月例会 ANA クラウンプラザホテル岡山（岡山市北区）
社会現象の相転移とそれを活用した事前防災対策	単独	2025年9月17日	国際防災・人道支援フォーラム実行委員会	DRA フォーラム 神戸ポートピアホテル（神戸市中央区）
事前防災を可能とした社会現象としての『相転移』	単独	2025年9月20日	国際都市研究学院	講義 政策研究大学院大学（東京都港区）
なぜ防災庁を創設しなければならないのか？～30年前に起こった阪神・淡路大震災の最大の教訓～	単独	2025年10月1日	(株)東京ビッグサイト	危機管理産業展 (RISCON)（東京都江東区）
地域活動やボランティア活動に役立つ防災の知識	単独	2025年10月3日	日本赤十字社大阪府支部	地域赤十字奉仕団ボランティア研修 大阪赤十字会館（大阪府中央区）
阪神・淡路大震災を振り返り、巨大地震に立ち向かう～被害を軽減する鍵	単独	2025年10月8日	自治体災害対策全国会議実行委員会	自治体災害対策全国会議 ラッセホール（神戸市中央区）
国難災害が起これば日本は衰退する	単独	2025年10月15日	国際都市研究学院	講義 政策研究大学院大学（東京都港区）
防災庁創設に向けて	単独	2025年10月18日	防災市民サミット実行委員会	防災市民サミット2025 神戸市男女共同参画センター（神戸市中央区）
「行政の災害対策と危機管理」「自主防災活動と地区防災計画」	単独	2025年10月22日	NTT ExC パートナー	防災士育成研修 大阪PRISM（大阪府都島区）
「防災総論Ⅰ」「防災総論Ⅱ」	単独	2025年10月25日	福岡市	博多あん（安全）・あん（安心）塾 福岡市役所（福岡市中央区）
防災省設置に向けて	単独	2025年10月28日	Spar Point Research LLC	SparPlaza2025 大田区産業プラザPIO（東京都大田区）
令和6年能登半島地震の教訓を生かすことができるのか	単独	2025年10月29日	国際都市研究学院	講義 政策研究大学院大学（東京都港区）
南海トラフ巨大地震への備え	単独	2025年11月4日	(株)竹中工務店	竹中工務店顧客向けセミナー ツドイコ名駅東カンファレンスセンター（名古屋市中東区）
室戸台風がもたらした被害	単独	2025年11月7日	日本災害情報学会	日本災害情報学会エクスカーション 吹田市立豊津第一小学校（大阪府吹田市）
令和8年度創設予定の防災庁が成功する条件とは	単独	2025年11月9日	富山県歯科医師会	近畿北陸地区歯科医学大会富山大会 富山国際会議場（富山県富山市）
防災庁を創設して南海トラフ地震の被害を減らす	単独	2025年11月15日	四日市市	四日市市防災講座 ユマニテックプラザ（三重県四日市市）
南海トラフ地震に備え生活習慣を変え、災害文化を豊かにする	単独	2025年11月16日	泥壁左官	泥壁SAKAN 講座 三重県総合文化センター（三重県津市）
奈良県吉野郡で心配な災害環境と防災	単独	2025年11月17日	奈良県吉野郡天川村	奈良県吉野郡議員研修 天川村役場（奈良県天川村）
地震発生リスクとこれを踏まえた地震防災対策について	単独	2025年11月18日	(株)大塚商会	AI x IT Solution Fair in 神戸 神戸メリケンパークオリエンタルホテル（神戸市中央区）

社会安全学研究 第16巻

秋田県における自然災害とその対応	単独	2025年11月27日	秋田県	トップフォーラム in 秋田 秋田県庁 (秋田県秋田市)
新たに創設される防災庁に期待する	単独	2025年11月29日	日本腎不全看護学会	第28回日本腎不全看護学会 神戸国際会議場 (神戸市中央区)
地球温暖化に伴う災害多発・激化現象への対策～社会現象の「相転移」を利用した事前防災策～	単独	2025年12月3日	(一社) 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)	JAPIC 防災委員会 鉄鋼会館 (東京都中央区)
防災庁による本気の事前防災	単独	2025年12月4日	なごや国際見本市委員会	中部ライフガード TECK2025 ポートメッセなごや (名古屋港区)
社会現象の相転移発生を利用した防災庁の発足	単独	2025年12月8日	(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構	ひょうご講座2025 兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)
事前防災を可能にできる危機管理の組織案	単独	2025年12月13日	春日井市	令和7年度春日井安全アカデミー 春日井市役所 (愛知県春日井市)
『社会現象の相転移』を用いた事前防災を世界標準にする～つぎに起こる南海トラフ地震の被害を激減できる～	単独	2025年12月20日	神戸国際大学	神戸国際大学学術研究会主催講演会 アンカー神戸 (神戸市中央区)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費基盤研究 (B) (一般)	代表	2024～2025	1,140 (4,940)	相転移を回避するための南海トラフ地震による長期停電の新たな防災対策
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本災害情報学会 (元会長), 名誉会員				
日本自然災害学会 (元会長), 終身会員				
土木学会 名誉会員, フェロー, 調査研究部門地震工学委員会 顧問				
日本地震工学会				
日本自治体危機管理学会				
日本災害復興学会				
(社会貢献活動)				
内閣官房 防災庁設置準備アドバイザー会議 委員				
大阪府 大阪府防災会議委員				
大阪府 地震津波災害対策検討部会 部会長				
大阪市 大阪港地震・津波対策連絡会議 オブザーバー				
守口市 総合基本計画審議会委員				
兵庫県, 災害救急医療システム運営協議会委員				
兵庫県, ひょうご安全の日推進県民会議 企画委員長				
兵庫県, 防災教育副読本改訂検討委員会 委員長				
兵庫県, 兵庫県防災会議委員				
兵庫県 兵庫県防災会議総合部会 委員長				
兵庫県, 「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会委員				
三重県, 防災会議専門部会「南海トラフ地震対策検討会議」委員長				
奈良県, 地域防災計画検討委員会 委員長				
岡山県, 防災アドバイザー				
高知県, 南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー				
関西広域連合, 関西広域防災計画策定委員会 委員長				
関西広域連合, 広域計画等推進委員会 委員				
鳥取県, 鳥取県政アドバイザースタッフ				
全国知事会地方自治先進政策センター, 頭脳センター専門委員				
(一財) 防災研究協会, 業務運営委員				
(一社) 日本プロジェクト産業協議会, 日本創成委員会/防災委員会 委員長				
(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構研究調査部「南海トラフ地震に伴う相転移の発生に関わる調査研究会」リーダー				
(公財) 兵庫県住宅再建共済基金運営協議会委員				

研 究 業 績

(公財) 計算科学振興財団 評議員

国立研究開発法人化学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業「共創の場形成支援プログラム」外部専門家

濱口梧陵国際賞 (国土交通大臣賞) 選考委員会 委員長

タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議 技術顧問

社会マネジメントシステム学会 第14回社会マネジメントシステム学会国際シンポジウム 科学技術委員

(その他業績として記載を希望する事項)

人と防災未来センター センター長 (2002年～現在)

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 理事長

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 理事長

特定非営利活動法人 人・家・街 安全支援機構 理事長

新興出版社啓林館 教科書編集協力 (防災・減災に係る校閲など)

■ 一 井 康 二

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 被災事例・実験を対象とした護岸構造物の 非線形地震応答解析	共著	2025年3月	総合土木研究所	基礎工, 共著者: 大矢陽介, pp.85~88
Effects of the Workshop for Building Seismic Safety by Introducing the Concept of Rapid Visual Screening: A Case Study in the Dominican Republic	共著	2025年12月	関西大学 社会安全学部	社会安全学研究, Vol.16. (印刷中, 2026 年3月刊行予定) 共著者: GUZMAN Vladimir, (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 被災事例・実験を対象とした護岸構造物の 非線形地震応答解析	共著	2025年3月	総合土木研究所	基礎工, 共著者: 大矢陽介, pp.85~88
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Comparison of Results of Seismic Safety Exercises in the Dominican Republic and Japan	共同	2025年5月16日	6ACUDR	6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction, Kobe, 口頭発表者: GUZMAN Vladimir
(招待講演) Challenges on Verification and Validation on FEM analyses ~ Examples from the guideline made by a JSCE research committee ~	単独	2025年5月26日	Suzhou University of Science and Technology	International Symposium on Data- Driven Site Characterization in Geotechnical Engineering Resilience (ISDDSC), Suzhou, China
「データ駆動型アプローチは構造物の安全性 評価をどう変えるか? ~経験知と数理モデル の融合を目指して~」	単独	2025年8月26日	安全工学会	第35回安全管理の最新動向講習会 —安全工学の周辺分野から学ぶ「安全 管理」—, 関西大学ミューズキャンパ ス
以下, フリー記入				
(所属学会) 土木学会, 地盤工学会, 日本地震工学会, 日本地すべり学会				
(社会貢献活動) 一般社団法人 FLIP コンソーシアム, 理事および特別顧問 土木学会地震工学委員会, 委員 土木学会地震工学委員会, 地盤の過剰間隙水圧上昇と消散に伴う変形の評価に関する研究小委員会, 委員 土木学会地震工学委員会, 耐震基準小委員会, 委員 (復旧性 WG 主査) 関西ライフライン研究会, 座長 (2025年5月まで) 一般財団法人沿岸技術研究センター, 令和6年度海洋・港湾構造物維持管理資格制度, 講習・研修小委員会, 委員 国土交通省四国地方整備局高知河川国道事務所, 直轄高知海岸地震対策検討委員会委員 国土交通省近畿地方整備局, 近畿地方整備局 TEC-FORCE アドバイザー				
(その他業績として記載を希望する事項) 日本 BCP 株式会社との共同研究 ジオ・サーチ株式会社との共同研究				

研 究 業 績

■ 伊 藤 大 輔

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 交差点通過時の危険回避行動に対する警告 の効果分析	共著	2025年3月	関西大学社会安全研 究センター	社会安全学研究, Vol.15, 129-135. 伊藤 大輔, 二木颯太, 山本雄平 (査読なし)
ヒヤリハットデータを用いた居眠り運転事 故直前のドライバ状況の分析	共著	2025年12月	日本交通科学学会	日本交通科学学会誌, Vol.25, No.1, 73-83, 國行浩史, 石田智明, 守田誠太 郎, 伊藤大輔 (査読あり)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 人体有限要素モデルを用いた電動キックボ ード事故時の傷害メカニズムの検討	共同	2025年5月23日	自動車技術会	自動車技術会2025年春季大会, パシフィ コ横浜 (横浜市)
視野急変時の運転行動分析方法の検討	共同	2025年6月15日	日本交通科学学会	第61回日本交通科学学会・学術講演会 (横浜市)
EDSSスイッチの押しやすさに関する車種 による影響	共同	2025年6月15日	日本交通科学学会	第61回日本交通科学学会・学術講演会 (横浜市)
家具転倒に起因する外傷性骨折および窒息 の発生可能性評価方法の検討	共同	2025年9月10日	日本機械学会	日本機械学会2025年度年次大会 (札幌 市)
(招待講演) 衝突シミュレーションによる人体傷害予測 の現状と将来の方向性	単独	2025年11月21日	交通安全環境研究所	交通安全環境研究所フォーラム2025 (東 京都)
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 自動車技術会 日本交通科学学会				
(社会貢献活動) 自動車技術会 インパクトバイオメカニクス部門委員会 幹事 (2016.04~ 継続中) 自動車技術会 前突分科会 委員 (2016.04~ 継続中) 自動車技術会 側突分科会 委員 (2016.04~ 継続中) 自動車技術会 歩行者保護分科会 委員 (2016.04~ 継続中) 自動車技術会 学術講演会運営委員会 委員 (2020.11~ 継続中) 日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 代議員 (2021.04~ 継続中) 日本交通科学学会 評議員 (2021.07~ 継続中)				

■ 奥村 与志弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文)				
介護サービス受給者に注目した東日本大震災時の気仙沼市における関連死の実態把握	共著	2025年3月21日	地域安全学会	地域安全学会論文集, Vol.46, pp.151-160, 八木亮介, 奥村与志弘 (査読有)
津波からの避難開始における論理的判断と直感的判断の関係を考慮した避難行動解析	共著	2025年9月3日	土木学会	第45地震工学研究発表会講演論文集, A25-547, 6p, 高橋佑介, 土肥裕史, 奥村与志弘
Impact of Long-Term Planned Power Outages Caused by Future Nankai Trough Earthquakes on Manufacturing Production and the Mitigation Measures	共著	2025年10月1日	Fuji Technology Press Ltd.	J. Disaster Res., Vol.20 No.5, pp. 816-830, T. Torayashiki, Y. Okumura, S. Hashitomi, H. Nakabayashi, and Y. Kawata (査読有)
災害対策とまちづくり施策相互の整合性確保に向けた課題構造 — 北海道市町村調査に基づく相反・相乗効果に着目して —	共著	2025年10月	地域安全学会	地域安全学会論文集, Vol.47, pp.151-160, 石井 旭, 奥村 与志弘, 中嶋 唯貴, 森 朋子, 杉本 匠 (査読有)
防災・減災は、人・組織・地域を成長させる — 防災・減災の新時代における先導者 —	単著	2025年10月	(一財) 港湾空港総合技術センター	機関紙 SCOPE NET, Vol.93, pp.24-26.
災害関連死を数値で捉えられる時代に一発災後の災害対応から、発災前の仕組みづくりまで	単著	2025年11月20日	(一財) 消防防災科学センター	消防防災の科学, No.162, pp.6-13.
(その他、論考・研究資料等)				
津波ってなんだろう？	単著	2025年1月14日	京阪神エルマガジン	南海トラフ大地震にそなえる本【関西版】(LMAGA MOOK) pp.52-54
インタビュー記事「災害時の「役割意識」醸成急務」	単著	2025年3月7日	都政新報	『都政新報』3面
日本の防災は転換期に 南海トラフ地震の新たな被害想定公表へ	単著	2025年3月17日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊2面, 関大 社会安全学部リレーコラム
本気の事前防災、本気の災害対応で災害関連死問題に挑む	単著	2025年7月	災害情報学会	災害情報学会ニュースレター, No.102, pp.3
本気の事前防災を促す契機に 南海トラフ地震臨時情報のガイドライン改定 平時に実行	単著	2025年8月18日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊2面, 関大 社会安全学部リレーコラム
生み出す力、届ける力	単著	2025年9月1日	朝日新聞社	『朝日新聞』広告記事, 子ども新聞2025寄稿文
初の「後発地震注意情報」、厳冬期の避難対策に日常から備えを	単著	2025年12月22日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊2面, 関大 社会安全学部リレーコラム
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
御堂筋沿いの建物の津波避難施設としての利用可能性	共同	2025年1月24日	関西大学先端科学技術推進機構	第29回関西大学先端科学技術シンポジウム, 奥村与志弘, 前田結衣, 関西大学百周年記念会館 (大阪府吹田市)
自死による災害関連死の発生プロセスに関する一考察: 東日本大震災における福島県楢葉町と宮城県気仙沼市の事例	共同	2025年3月19日	東日本大震災・原子力災害学術研究集会	東日本大震災・原子力災害 第3回学術研究集会, pp.65-66, 篠原まどか, 奥村与志弘, コラッセふくしま (福島県福島市).
東日本大震災後の福島県における超過死亡届数の分析	共同	2025年3月19日	東日本大震災・原子力災害学術研究集会	東日本大震災・原子力災害 第3回学術研究集会, pp.67-68, 保田香音, 奥村与志弘, コラッセふくしま (福島県福島市).
災害関連死と生活拠点の移動の関係に関する一考察: 東日本大震災における福島県楢葉町の事例	共同	2025年3月19日	東日本大震災・原子力災害学術研究集会	東日本大震災・原子力災害 第3回学術研究集会, pp.71-72, 松本庄平, 奥村与志弘, コラッセふくしま (福島県福島市).

研究業績

津波避難開始における住民の判断特性の違いを考慮した避難行動の数値解析	共同	2025年3月19日	東日本大震災・原子力災害学術研究会	東日本大震災・原子力災害 第3回学術研究会, pp.78-79, 高橋佑介, 奥村与志弘, コラッセふくしま (福島県福島市).
短波海洋レーダによる津波情報と活用	共同	2025年5月29日	地球惑星科学連合	地球惑星科学連合2025年大会, SCG63-04, 藤井智史, 日向博文, 奥村与志弘, 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市).
Digital Twin for Coastal Disaster Risk Reduction and Resilience	共同	2025年7月30日	Asia Oceania Geosciences Society (AOGS)	Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) Annual Meeting, Shunichi Koshimura, Nobuhito Mori, Naotaka Chikasada, Keiko Udo, Junichi Ninomiya, Yoshihiro Okumura, Erick Mas, Singapore.
中国における地震災害と交通事故の発生状況に関する横断的分析	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会, A-2-1, 李昊程, 奥村与志弘, 北海道教育大学 (北海道札幌市).
気象現象別にみた風水害死者数の経年変化とその要因分析	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会, A-2-2, 大槻帆乃香, 奥村与志弘, 大野哲之, 北海道教育大学 (北海道札幌市).
令和6年能登半島地震における災害関連死認定事例にみる停電影響の実態	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会, A-4-5, 上野直人, 八木亮介, 奥村与志弘, 星野理, 北海道教育大学 (北海道札幌市).
令和6年能登半島地震津波における避難開始行動の特徴分析	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会, A-4-4, 久世真侑子, 奥村与志弘, 高橋佑介, 北海道教育大学 (北海道札幌市).
災害関連死の抑制は可能か	共同	2025年11月9日	日本リスク学会	第38回日本リスク学会年次大会, A6-3, 奥村与志弘, 久保英也, 大阪大学 (大阪府吹田市).
Enhancing Urban Attractiveness through Tsunami Risk Reduction: Confronting Mega-Disaster Challenges in Osaka, Japan	共同	2025年11月14日	International Tsunami Symposium	the 32nd International Tsunami Symposium (ITS2025), Yoshihiro Okumura and Yui Maeda, Hyderabad, Telangana, India.
令和6年能登半島地震の特徴を踏まえた津波避難開始行動の分析	共同	2025年12月11日	関西大学他	第15回巨大津波災害に関する合同研究会, 久世真侑子, 奥村与志弘, 関西大学梅田キャンパス (大阪府大阪市)
(招聘講演) 阪神・淡路大震災からの30年に学ぶこれからの防災・減災	単独	2025年1月15日	国土交通省 近畿地方整備局	阪神・淡路大震災30年シンポジウム, 天満橋 OMM ビル
災害関連死多発社会にどう立ち向かうか	単独	2025年1月18日	関西大学・大阪医科薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構	第20回医工薬連環科学教育研究機構シンポジウム, 大阪医科薬科大学
特定建築物の災害リスクと防災ポテンシャル	単独	2025年2月25日	大阪市健康局	令和6年度特定建築物の衛生管理に関する講習会における講演 第1回, 大阪市立北区民センター
特定建築物の災害リスクと防災ポテンシャル	単独	2025年3月7日	大阪市健康局	令和6年度特定建築物の衛生管理に関する講習会における講演 第2回, 大阪市立西成区民センター
阪神・淡路大震災から30年 NEXT BOSAI を展望する	単独	2025年3月26日	経済産業省 中部近畿産業保安監督部近畿支部, 近畿経済産業局	産業保安講演会, オービックホール
防災が引き出す地域・企業・人の魅力	単独	2025年3月28日	共同通信社	共同通信 大阪きさらぎ会 3月例会, スイホテル南海大阪
防災×ビジネス×まちづくり～しなやかな大阪梅田を創るためのトークセッション～	共同	2025年4月12日	関西大学梅田キャンパス	うめだ防災フェス in 関西大学梅田キャンパス, 関西大学梅田キャンパス
防災が日常を豊かにし, 日常が防災を強くする	単独	2025年4月26日	地盤工学会関西支部	(公社) 地盤工学会関西支部 令和7年度市民防災講演会～これからの防災・減災研究の最前線～, 神戸ポートオアシス

30 Years After the Earthquake: Tracing Kobe's History of Recovery and Growth — Floods, Bombings during WW II, Earthquakes... and What Comes Next — (巡見のオリエンテーション)	単独	2025年5月17日	Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR)	The 6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction (ACUDR), Field Trip, 人と防災未来センター
災害対応から企業変革へ——防災が創る新しい価値	単独	2025年5月20日	ゼンショーホールディングス	社内講演会, JR品川イーストビル
田原から日本を守る力を育む～南海トラフ巨大地震に備えて	単独	2025年5月26日	田原市教育委員会	田原市教育委員会「防災キャンプ事業」特別授業, 田原市立清田小学校
南海トラフ地震の新想定にどう向き合うか	単独	2025年5月26日	田原市	田原市職員の防災に関する研修会, 田原市役所
災害関連死とは何か～発生メカニズムと対策～	単独	2025年6月4日	関西経済同友会	関西経済同友会 調査企画部会 勉強会・委員会会合, 中之島センタービル
守るから創るへ——企業価値を高める防災の視点	単独	2025年6月10日	摂津市消防本部	令和7年度摂津市防火安全講演会, 摂津市消防本部庁舎
東日本大震災で起きたこと・起きていること	単独	2025年6月14日	日本赤十字社愛知県支部・岐阜県支部, 朝日新聞社メディア事業本部	子ども新聞プロジェクト事前授業, 朝日新聞名古屋本社
守るから創るへ——防災との新しい向き合い方	単独	2025年6月18日	大都市日本研究会	大都市日本研究会 勉強会, ホテルロイヤルクラシック大阪
南海トラフ巨大地震と災害関連死	単独	2025年7月3日	「震災対策技術展」大阪 実行委員会	第12回「震災対策技術展」大阪, セミナー, マイドームおおさか
パネルディスカッション『住宅の耐震補強と災害関連死』	単独	2025年7月3日	特定非営利活動法人『人・家・街安全支援機構』	第12回「震災対策技術展」大阪, 第582回市民フォーラム, 大阪商工会議所
北風の防災と太陽の防災	単独	2025年7月15日	関西大学	関大の知にふれる(出張講義), 私立仁川学院高等学校
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震——発生メカニズムと対策について——	単独	2025年7月20日	兵庫県但馬県民局	令和7年度但馬地域ひょうご防災リーダー講座, 豊岡市民会館
守るための防災教育から創るための防災教育	単独	2025年7月25日	兵庫県教育委員会	令和7年度震災・学校支援チーム(EARTH)第1回訓練・研修会, 兵庫県立総合教育センター
災害関連死を考える	単独	2025年9月8日	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構	ひょうご講座2025, 兵庫県中央労働センター
「守る防災」から「創る防災」へ——企業戦略としての社会安全学	単独	2025年9月12日	関西大学社会安全学部	関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 第9回 東京シンポジウム, 関西大学東京センター
災害関連死の防止と中長期的な健康管理	単独	2025年10月6日	兵庫県災害医療センター	令和7年 JICA 中南米災害医療マネジメント研修, 兵庫県災害医療センター
災害対応各論(災害関連死)	単独	2025年10月7日	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	令和7年度秋期 災害対策専門研修「マネジメントコース」エキスパートA, 人と防災未来センター東館
南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震——発生メカニズムと対策について——	単独	2025年10月12日	兵庫県広域防災センター	令和7年度ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県広域防災センター講堂
南海トラフ地震の新被害想定	単独	2025年10月17日	神戸大学 都市安全研究センター	第307回神戸大学都市安全研究センターオープンゼミ, 神戸市役所 4号館(危機管理センター)
企業経営者と考えるこれからの防災	単独	2025年10月24日	関西大学 社会連携部 産学官連携センター	関西大学次世代経営者塾, 関西大学梅田キャンパス
災害関連死と相転移	単独	2025年10月30日	関西ライフライン研究会	建設技術展2025近畿 関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム～南海トラフ地震に備えて: 阪神・淡路大震災から30年, 大阪府の地震防災最前線～, インテックス大阪
再考——国難災害との向き合い方 企業経営に新たな視点を	単独	2025年11月21日	大阪商工会議所	大阪商工会議所第21回常議員会 講話, 大阪商工会議所

研 究 業 績

防災がまちづくりを魅力的にする ～伏見を襲う最大クラスの災害との向き合い方～	単独	2025年12月18日	伏見の防災を考える会	令和7年度伏見連続講座, 伏見区役所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2022年～2025年	0 (2,000)	相転移を回避するための南海トラフ地震による長期停電の新たな防災対策
日本BCP株式会社 共同研究	代表	2025年10月～2026年9月	1,000	災害時における電源確保のための燃料備蓄と災害時の燃料配送および事業継続に関する研究
国立大学法人愛媛大学・ORNIS株式会社 共同研究	分担	2025年	1,170	海洋レーダデータを用いた津波計測・津波防災情報に関する研究
北海道立総合研究機構 重点研究課題	分担	2024年6月～2027年3月	700 (2,100)	防災まちづくりにおける防災・減災対策評価ツールの開発
セコム科学技術振興財団 一般研究助成	分担	2025年10月～2027年9月	700 (2,300)	海岸・海洋デジタルツインの構築と沿岸環境のレジリエンス向上
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会				
日本地震学会				
地域安全学会				
AGU (アメリカ地球物理学連合)				
(社会貢献活動)				
1.学会				
土木学会 地震工学委員会『土木学会地震工学論文集編集小委員会』副幹事長				
土木学会 海岸工学委員会『海岸・海洋デジタルツイン研究小委員会』委員				
土木学会 国際部門国際センター『留学生グループ』委員				
自然災害学会『ホンネで語ろう「ぼうさい」イブニングカフェ』企画・運営会議 委員				
自然災害学会『選挙管理委員会』委員				
地域安全学会『理事会』理事				
地域安全学会『学術委員会』委員				
6th ACUDR (第6回アジア都市防災会議) 実行委員会 委員				
The IUGG Joint Tsunami Commission Member				
2.国				
内閣府『大規模地震防災対策推進検討会』委員				
内閣府『令和7年度「地震・津波防災訓練」アドバイザー』防災専門家(アドバイザー)				
3.地方自治体				
大阪府『大阪府防災会議』専門委員				
徳島県『徳島県南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会』委員				
広島県『能登半島地震を踏まえた被災者支援の強化に向けた地震防災対策検討会』委員				
和歌山県『和歌山県地震・津波被害想定検討委員会』委員				
三重県『三重県地震被害予測調査WG』委員				
奈良県『第3次奈良県地震被害想定調査検討委員』委員				
鹿児島県『鹿児島県地震等災害被害予測調査検討有識者会議』委員				
福井県, 津波浸水想定の見直し検討に関するアドバイザー				
滋賀県『滋賀県地震被害想定調査検討委員会』委員				
南あわじ市『兵庫県南あわじ市防災会議』委員				
南あわじ市『福良地区円卓会議』座長				
田原市『愛知県田原市防災会議』委員				
田原市 教育委員会『防災学習プログラム』アドバイザー				
4.その他の委員など				

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター『BEYOND 30+ (メモリアル・コンファレンス・イン KOBE) 企画実行委員会』委員長
 ひょうご震災記念21世紀研究機構『南海トラフ地震に伴う相転移の発生に関わる調査研究』研究会 幹事長
 朝日新聞名古屋本社・日本赤十字社『子ども新聞プロジェクト』アドバイザー
 NPO 法人 大規模災害対策研究機構 理事
 ORNIS 株式会社 技術顧問

(客員教員・非常勤講師)
 神戸学院大学 現代社会学部 非常勤講師

(その他業績として記載を希望する事項)

報道・取材協力

- R07.01.07: NHK [総合] 「クローズアップ現代『助かった命がなぜ...能登半島地震 災害関連死』」19:30~19:57 (出演, コメント).
 R07.01.11: 毎日新聞 「『30年間で発生率減らせていない』 専門家が見た関連死の現実」, Web 記事
 R07.01.16: 産経新聞 「阪神大震災30年 振り返るシンポ」朝刊1面.
 R07.01.16: NHK [関西] 「ほっと関西『震災30年 あの日からの教訓と課題 “災害関連死” を防ぐ』」18:00~19:00 (出演, コメント).
 R07.01.17: 日刊建設工業新聞 「阪神・淡路大震災から30年 近畿整備局がシンポ」10面.
 R07.01.17: 読売新聞 「阪神大震災30年 神戸の教訓 (中)」朝刊34面.
 R07.01.17: NHK [総合] 「NHK スペシャル『映像記録 阪神・淡路大震災 — 命をめぐる30年の現在地 —』」22:00~22:55 (出演, コメント)
 R07.01.17: NHK World 「From Survivors to Victims: Disaster-Related Deaths After Noto Earthquake」23:30~23:57 (出演, コメント).
 R07.01.18: 神戸新聞 「関連死」朝刊.
 R07.02.04: 毎日新聞 「ミニ論点: 関連死抑制, 遠い最適解」朝刊3面.
 R07.02.28: NHK [関西] 「かんさい熱視線『阪神・淡路大震災30年 災害関連死 一人ひとりの命守るために』」19:30~19:57 (出演, コメント).
 R07.03.18: RKB 毎日放送 「【今ここにある危機】「災害関連死」防ぐには」ニュース (出演, コメント).
 R07.03.31: 日本経済新聞 「国難災害が突く人口減の急所 南海トラフ対策の転換点」電子版.
 R07.04.01: 毎日新聞 「クローズアップ: 減災, 行政主導に限界 南海トラフ被害想定」朝刊3面.
 R07.04.01: 日本経済新聞 「南海トラフ地震, 災害関連死は最大5万人に 政府初推計」朝刊43面.
 R07.04.01: NHK 「【Q & A】南海トラフ巨大地震「新被害想定」専門家に聞く」, WEB 特集記事.
 R07.04.01: NHK [関西] 「ほっと関西『南海トラフ新想定「災害関連死」を初試算 近畿1.7万人か』」18:10~19:00 (出演, コメント).
 R07.04.02: NHK [関西] 「ほっと関西『南海トラフ巨大地震 津波の犠牲者 早期避難で9割減に』」18:10~19:00 (出演, コメント).
 R07.04.05: NHK [総合] 「ニュース7『南海トラフ巨大地震『津波避難ビル』指定進むも認知が課題に』」19:00~19:30 (出演, コメント).
 R07.05.11: NHK [総合] 「明日をまもるナビ『南海トラフ巨大地震 (1) 被害想定の見直しは』」10:05~10:50 (出演, コメント).
 R07.05.28: NHK [教育] 「視点・論点『災害関連死による犠牲を減らす』」12:50~13:00 (出演)
 R07.06.18: NHK [総合] 「おはよう日本『大阪北部地震7年 “家具の固定進まず 別のアプローチ必要”』」5:00~ (出演, コメント).
 R07.06.18: NHK [関西] 「ほっと関西『大阪北部地震7年 “家具の固定進まず 別のアプローチ必要”』」18:10~19:00 (出演, コメント).
 R07.06.18: NHK 「家具転倒で死者 賃貸の対策は? 代行は? 大阪北部地震7年」, WEB 特集記事
 R07.06.18: 産経新聞 「薄れるブロック塀倒壊への危機意識 女児犠牲の大阪北部地震7年 診断依頼, 減少傾向に」朝刊18面.
 R07.08.08: 読売新聞 「臨時情報 混乱から1年」朝刊11面.
 R07.10.14: NHK [神戸] 「リブラブひょうご『いのちを守る “津波避難ビル” 県内の現状と課題は』」18:30~19:00 (助言, コメント).
 R07.12.20: NHK [総合] 「おはよう日本『大阪府 南海トラフ地震の津波 新想定素案 浸水範囲1割減』」5:00~ (出演).

番組企画協力

FM 大阪, 西岡ゼミ (商学部) × 奥村ゼミ (社会安全学部) 『東洋テック presents「関大革命〜一歩先の防災〜」 (番組: intense! [16:00-18:20] 内コーナー, 毎月第3水曜日17時台後半担当, 生放送)

- 第1回: R07.04.16
 第2回: R07.05.21 (出演)
 第3回: R07.06.18
 第4回: R07.07.16
 第5回: R07.08.20
 第6回: R07.09.17 (出演)
 第7回: R07.10.15
 第8回: R07.11.19
 第9回: R07.12.17

研究業績

■ 亀井克之

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Karoshi et la santé des dirigeants de PME: un enjeu des risques dans le contexte japonais	分担執筆	mars 2025	DeBoeck	Olivier Torrès (sous la direction de), <i>La santé du dirigeant De la souffrance patronale à l'entrepreneuriat salubre</i> , 4e édition, Katsuyuki Kamei et Hiroki Ogyu, Chapitre 6, pp.85-93
南フランスの文化・地域社会と産業 — 太陽と健康のテロワール —	単著	2025年3月	関西大学出版部	198頁
アメリカ映画に学ぶリスクマネジメント — 決断と危機突破のハリウッド —	共著	2025年10月	ミネルヴァ書房	亀井克之・杉原賢彦, 324頁 (各章でと りあげた映画作品についてのリスクマ ネジメントの観点からの分析部分担当)
(翻訳) ワイン・ウォーズ: モンダヴィ事件 アメ リカ流グローバル化とフランス流 テロワール	共著	2025年4月	東洋出版	オリビエ・トレス著 山本淑子 窪田知 樹と共訳, 電子出版
(学術論文) The Succession of a Japanese Family Business: Father-Daughter- Granddaughter Relationships, Legacy and Legitimacy	共著	2025年1月	Sage	Audrey Missonier, Katsuyuki Kamei and Béangère Deschamps, Sage Business Cases Originals, DOI: https:// doi.org/10.4135/9781071981603 , https://sk.sagepub.com/cases/ the-succession-japanese-family-father- relationships-legacy-legitimacy (査読あ り)(事例対象者インタビュー, 事例執筆 とそのフランス語翻訳担当)
Development of the occupational stress scale for small and medium-sized enterprise owners for stress prevention measures	共著	2025年1月	JNIOH	Sumiko Kurioka, Akihito Hagihara, Katsuyuki Kamei, Masakazu Horikoshi, and Olivier Torrès, <i>Industrial Health</i> , Volume 63 Issue 2 Pages 164-181, DOI: https://doi.org/10.2486/ indhealth.2023-0206 (査読あり)(フ ランス人共著者オリビエ・トレス教授による フランス語での助言の調整)
中小企業経営者のストレス予防教育プロ グラムの検討 — デジタルメンタルヘルス を考慮した教育プログラム —	共著	2025年3月	桃山学院教育大学	栗岡住子, 馬ノ段梨乃, 村上祐介, 亀井 克之, オリビエ・トレス, 桃山学院教育 大学紀要, 第7号, p.15-33 (査読あり) (理論的フレームワークにおけるフランス オリビエ・トレス教授の理論の導入)
アートとリスクマネジメント — 統一問 題提起 —	単著	2025年5月	日本リスクマネジメント学会	危険と管理, 第56号, p.1-10. (査読なし)
女性後継者の事業承継とリスクメン ト	共著	2025年5月	日本リスクマネジメント学会	堀越昌和, 亀井克之, 栗岡住子, 『危険と 管理』第56号, 2025年3月, p.184-201 (査読あり)(理論的記述部分におけるリ スクマネジメントのフレームワークの導 入)
ソーシャル・リスクマネジメント研究と実 務の接点 — 関西大学社会安全学部寄付 講座「安全・安心な社会を支える保険制度」 の10年 —	共著	2025年9月	ソーシャル・リス クマネジメント学会	実践危機管理, 第40号, 2025年9月, p.65-73 (査読なし)(理論的枠組み, 日新火災担当部分以外の寄付講座全般に ついて執筆)
女性後継者の承継後の業績に影響を及ぼす 要因	共著	2025年11月	日本政策金融公庫	村上義昭, 堀越昌和, 亀井克之, 栗岡住 子, 日本政策金融公庫論集 69号 p.53-75 (査読あり)(理論的フレームワ ークの一部とアンケート部分に協力)
(その他, 論考・研究資料等) 巻頭言	単著	2025年5月	日本リスクマネジメント学会	危険と管理, 第56号, p.I-II. (査読なし)

日本版の刊行にあたって 日仏共同研究の15年	単著	2025年7月	スール	オリビエ・トレス編著, 影浦ちひろ訳 『アントレプレナーシップと健康 フランスの起業家にみる持続可能な働き方』 p.15-16
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
Risk Information Disclosure on Sustainability and Climate Change in Japan	単独	2025年3月27日	Korean Risk Management Society	2025年大会, 創立35周年記念大会, 韓国保険協会, ソウル
ソーシャル・リスクマネジメントの実務と研究の接点 — 日新火災・関西大学社会安全学部・寄付講座の10年 —	共同	2025年7月19日	ソーシャル・リスクマネジメント学会	亀井弘明と共同報告, 関西部会, 大阪中央公会堂
アメリカ映画に学ぶリスクマネジメント	単独	2025年9月6日	日本情報ディレクター学会	全国大会, 関西大学 高槻ミュージックキャンパス M604
(研究報告)				
フランス医療機関におけるアート パリアルマン・トルソー病院小児整形外科における取り組み	単独	2025年3月1日	堺市と関西大学の地域連携事業	「Art with Hospital in Sakai 堺市医療機関とアート」連続講演会3, 共催 耳原総合病院 アートセッション・関西大学 経済政治・研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 耳原総合病院 ホール
コート・デュ・ローヌ地方 ギガル家とラングドック地方ドマス・ガサックのギベール家	単独	2025年3月18日	関西大学 経済・政治研究所	関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班・後期連続講演会1「ファミリービジネスとワイン産業」, 関西大学 児島惟謙館 会議室
南仏の産業にみる危機管理とリーダーシップ	単独	2025年6月17日	関西大学 東西学術研究所	アートと感性・健康 東西比較研究班 春季連続研究例会2, 「南フランスの文化・地域社会と産業 — 太陽と健康のテロワール」(関西大学出版部) 出版記念講演会, 関西大学高槻ミュージックキャンパス ミュージックホール
テロワールと感性 モンダヴィ事件の教訓 アニアーヌ村の現在	単独	2025年6月19日	関西大学 東西学術研究所	アートと感性・健康 東西比較研究班 春季連続研究例会3, 関西大学 東京センター
Opening remark on PDM program	単独	2025年12月6日	関西大学大学院社会安全研究科PDM	Opening remark, The 2nd PDM Seminar "The 3rd Networking Meeting", 関西大学 高槻ミュージックキャンパス M904
(招待講演)				
学校運営におけるリスクマネジメント	単独	2025年1月10日	奈良県校長協会	奈良県校長協会研修会, 奈良県立教育研究所
組織と個人を取り巻くリスクの科学的管理	単独	2025年12月11日	一般社団法人 日本粉体工業技術協会	情報技術交流懇話会 第234回木曜会, 大阪ガーデンパレス
(司会・通訳・コメンテーター・企画・実行委員長, その他)				
社会医療法人人生長会・社会福祉法人悠人会におけるAIFフィランソロビー「アートとサイエンスの融合」	単独	2025年2月17日	関西大学と堺市の地域連携事業	山村達男講演の企画・司会, 「Art with Hospital in Sakai 堺市医療機関とアート」連続講演会1, 共催 関西経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 司会, 社会医療法人人生長会・ベルランド総合病院
ダンスの可能性 いかにN'ismを世界に生かしたか	単独	2025年2月27日	関西大学と堺市の地域連携事業	未澤紀子講演の企画・司会, 「Art with Hospital in Sakai 堺市医療機関とアート」連続講演会2, 共催 関西経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 関西大学 梅田キャンパス

研 究 業 績

医療機関とアート 文化的処方と堺市・耳原総合病院	共同	2025年3月1日	関西大学と堺市の地域連携事業	室野愛子講演の企画・コメント「Art with Hospital in Sakai 堺市医療機関とアート」連続講演会3, 共催 関西経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 耳原総合病院 ホール
患者さんとコンテンポラリーダンスを鑑る会	共同	2025年3月4日	関西大学と堺市の地域連携事業	小堀愛永・庄波希ダンス公演の衛藤桃子(耳原総合病院アートセクション)との共同企画・コメント, 「Art with Hospital in Sakai 堺市医療機関とアート」連続講演会4, 共催 関西経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班, 第一部 耳原総合病院10階病棟, 第二部 同3階リハ室
株式会社センエイの理念と経営	単独	2025年3月18日	関西大学 経済・政治研究所	間崎泰光講演の企画・司会, 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班・後期連続講演会2「関西ファミリービジネスのBCM(事業承継・事業継続と東アジア戦略)」, 関西大学 梅田キャンパス 701
中小企業の事業承継とリスクマネジメント — M & A とリスクファイナンス —	単独	2025年3月23日	関西大学 経済・政治研究所	林昭信の講演の企画・コメント, 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班・後期連続講演会3「中小企業の事業承継とリスクマネジメント」, 筑邦銀行 福岡営業部3階会議室
関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班の活動	単独	2025年3月25日	関西大学 経済・政治研究所	顧問との懇談会, 関西大学児島惟謙館
Art et Santé: intérêt de l'art dans l'équilibre de la vie humaine	単独	2025年4月8日	関西大学 社会安全学部 リスクマネジメント研究室	Michèle Chahbazian 講演の企画・通訳, 関西大学 高槻ミュージズキャンパス ミューズホール
ワイン・ウォーズ: モンダヴィ事件の25年マス・ド・ドマス・ガサックの現在	単独	2025年5月13日	関西大学 東西・学術研究所	Basile Guibert 講演の企画・通訳, アートと感性・健康 東西比較研究班 春季連続研究例会1『ワイン・ウォーズ: モンダヴィ事件 アメリカ流グローバルゼーションとフランス流テロワール』(電子出版)(東洋出版)出版記念講演会, 関西大学高槻ミュージズキャンパス ミューズホール
日本リスクマネジメント学会関西部会・日本情報ディレトリ学会 合同研究会	共同	2025年6月21日	日本リスクマネジメント学会	実行委員長, 日本情報ディレトリ学会と共催, 関西大学千里山キャンパス 第2学舎C507
アートとリスク感性	単独	2025年7月18日	関西大学 東西・学術研究所	司会・問題提起, アートと感性・健康 東西比較研究班 春季連続研究例会4, 関西大学 児島惟謙館 会議室
日本リスクマネジメント学会総合部会	単独	2025年8月29日	日本リスクマネジメント学会	総合司会, アクサ生命札幌本社
日本情報ディレトリ学会全国大会	単独	2025年9月6日	日本情報ディレトリ学会	実行委員長, 関西大学 高槻ミュージズキャンパス M604
日本リスクマネジメント学会第50回記念全国大会 リスクマネジメント研究の半世紀	単独	2025年9月27日	日本リスクマネジメント学会	実行委員長, 研究報告会・全国大会50回のあゆみ展示, 関西大学 高槻ミュージズキャンパス M304
アクサ40年の奇跡とDNA 危機に学び, 機会に帰る経営	単独	2025年12月9日	関西大学 東西・学術研究所	岩田肇講演の企画・コメント, 秋季連続研究例会, 関西大学 高槻ミュージズキャンパス ホール
アクサ生命は, なぜ札幌に本社機能を分散し, 2本社制にしたか	単独	2025年12月16日	関西大学 東西・学術研究所	大野雅人・岩田肇講演の企画・コメント, 秋季連続研究例会, 関西大学 高槻ミュージズキャンパス ホール
Comparative perspectives of Crisis Management and Disaster Risk Reduction	単独	2025年12月23日	関西大学大学院社会安全研究科PDM	El. Mostafa Rezrazi 講演の企画・コメント, The 3rd PDM Seminar 2025, 関西大学 高槻ミュージズキャンパス ミューズホール

社会安全学研究 第16巻

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究課題/領域番号 25K14369	分担	2025～2027年度	1,080 (4,680)	中小企業経営者のストレス予防教育プログラムの社会実装化 研究代表者 栗岡住子
科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号 23K1599	分担	2023～2025年度	650 (3,500)	中小企業における女性後継者の承継後企業パフォーマンスの決定要因に関する研究 研究代表者 堀越冒和
科学研究費補助金 基盤研究(B) 課題番号 21H00751	代表	2021～2025年度	800 (7,200)	被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究
科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究課題/領域番号 22K11135	分担	2023～2025年度	100 (4,160)	中小企業経営者におけるストレス予防教育プログラムの開発 研究代表者 栗岡住子
堺市と関西大学との地域連携事業	代表	2025年度	982	Art with Hospital in Sakai 堺市医療機関とアートの新展開
堺市と関西大学との地域連携事業	代表	2024年度	530 (1,260)	Art with Hospital in Sakai 堺市医療機関とアート
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本リスクマネジメント学会 理事長				
ファミリービジネス学会 理事				
ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事				
情報ディレクトリ学会 理事				
日仏経営学会				
日本経営学会				
日本商品学会				
日本中小企業学会				
日本保険学会				
事業承継学会				
(社会貢献活動)				
特定非営利活動法人コミュニアル 理事				
経営学関連学会連絡協議会 評議員				
日本経済学会連合 委員				
大阪家庭裁判所委員会 委員				
大津市 消防署 救助訓練中における事故に関する検証委員会 委員長				
フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長				
全国通訳案内士 フランス語 関西広域連合登録 第FR00099号 1996年6月28日				
全国通訳案内士 英語 関西広域連合登録 第EN01034号 2017年12月28日				
(その他業績として記載を希望する事項)				
関西大学 東西学術研究所 アートと感性・健康 東西比較研究班 主幹				
大阪医科薬科大学 看護学部 非常勤講師 「くらしと安全・危機管理」担当				
関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問				
関西大学 社会安全学部 学生団体 軟式野球サークル Blue Fighters 顧問				
(報道)				
「亀井ゼミ 熊害について」『Hit&Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2025年12月1日				
「亀井ゼミ フランスからの留学生」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2025年12月8日				
「亀井ゼミ 情報セキュリティ」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2025年12月15日				
「亀井ゼミ アメリカ映画に学ぶリスクマネジメント」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2025年12月22日				
「亀井ゼミ 1年を振り返って」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2025年12月29日				
1月15日(水) 産経新聞 朝刊 24面 「宝塚、風土変わるか 取締役半数, 社外から」 「宝塚歌劇団を株式会社化 人選が重要」				
1月14日(木) 産経新聞 WEB版 「宝塚歌劇団を法人化, 独立性高める方針に舵 客観性や専門性の視点から管理」 https://www.sankei.com/article/20250114-WCPPM7UOJRMVDL7WUQYTPWSDE/				

研究業績

- 2月21日（金）日本経済新聞 夕刊 29面 「文化の風」「変わるか「宝塚」組織風土」「法人化、興行計画・雇用も見直し」
- 2月21日（金）日本経済新聞 WEB版 「文化の風」「変わるか「宝塚」組織風土」「法人化、興行計画・雇用も見直し」<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOIH148PE0U5A210C2000000/?msockid=0f33a30c32446c3208d2b73533456d0f>
- 6月12日（木）京都新聞 夕刊 「無人ジム 相次ぐ盗難」「手ごろな価格も防犯課題」
- 9月2日（火）ウェブサイト「Bloomberg」 サントリーホールディングスの会長辞任した際の対応について 関連リンク
- 9月8日（月）サンケイスポーツ 朝刊 阪神タイガース優勝・藤川監督のマネジメント
- 9月8日（月）サンケイスポーツ WEB版 「関大・亀井克之教授、藤川監督は「自らの言葉力でリスクマネジメントを完結させた」」https://www.sanspo.com/article/20250908-C2A3YXFYJVGTTAOZS5NHQSJ3NQ/?outputType=theme_tigers
- 9月22日（月）ドン・キホーテの跡継ぎを巡る記事においてコメント 関連リンク Bloomberg ウェブサイト（日本語） Bloomberg ウェブサイト（英語）
- 11月1日（土）日本経済新聞 朝刊 10面 リーグ制覇を達成した阪神タイガース・藤川球児監督のリーダー像 関連リンク 日本経済新聞ウェブサイト
- 11月22日（土）毎日新聞 朝刊 10面 書評『アメリカ映画に学ぶリスクマネジメント』（亀井克之、杉井原賢彦・著／ミネルヴァ書房）
関連リンク 毎日新聞のウェブサイト
- 12月4日（木）保険毎日新聞 4面 「日本リスクマネジメント学会」の関西部会（6月21日）および総合部会（8月29日～30日）
- 12月15日（月）新日本保険新聞 4面 学生にリスクファイナンスの理解を日新火災 関西大学で寄付講座を実施 安全・安心な社会を支える保険制度

（開催協力）

ホスピタルアート国際プロジェクト：ひといろプロジェクトを支援して、フランス パリ・サントマリー病院における認知症治療のアートセラピーの一環としての作品作りに基づき、2025年9月18日、大阪・関西万博、イタリア館における展示の翻訳・コーディネート

Trace 主催、安満遺跡公園音楽祭 Amaoto, 2025年9月28日、関西大学学生団体 KUMC と亀井ゼミ生がボランティア

フランス日本拳法連盟（ANKF）と関西大学体育会拳法部との合同練習、通訳、2025年10月8日 関西大学千里山キャンパス

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 群集なだれのメカニズム	単著	2025年4月	日本旅行医学会	日本旅行医学会学会誌、Vol.19, No.1, pp.56-60 (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(招待講演) 群集事故に備えた雑踏警備の危機管理	単独	2025年2月19日	兵庫県警察	兵庫県警察学校講義 (兵庫県芦屋市)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 粉体工学会 日本混相流学会 日本災害情報学会 交通工学研究会 建築学会				
(社会貢献活動) 兵庫県警察 雑踏警備アドバイザー びわこモーターボート 競走場警備業務委託入札に係る評価検討会アドバイザー				

■ 桑 名 謹 三

以下, フリー記入
(所属学会) 日本保険学会 日本公共政策学会 日本経済政策学会 環境経済・政策学会 環境法政策学会 環境社会学会 法と経済学会 PL 研究学会 日本私法学会 日本情報ディレクトリ学会
(社会貢献活動) 兵庫県住宅再建共済制度 (フェニックス共済) のあり方検討会 委員 日本リスクマネジメント学会 理事・事務局長代理 上智大学大学院地球環境学研究科同窓会役員

■ 越山 健治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文)				
令和6年能登半島地震対応初期における 輪島市市職員の業務分析	共著	2025年1月	日本災害情報学会	災害情報 No23-1, 有吉 恭子らと共著, pp.125-136, 査読有り
大規模水害被災地の土地利用変化の分析	共著	2025年5月	地域安全学会	2025年地域安全学会梗概集 No.56, 光澤 凜と共著, pp.105-108
自治体の災害対策本部運営訓練の現状 —自治体のアンケート調査をもとに—	共著	2025年5月	地域安全学会	2025年地域安全学会梗概集 No.56, 柴野 将行らと共著, pp.196-199
令和6年能登半島地震における災害対策本 部会議資料の実態解明 —石川県輪島市の 事例—	共著	2025年5月	地域安全学会	2025年地域安全学会梗概集 No.56, 塩津 達哉らと共著, pp.265-268
風水害時の自治体災害対策本部事務局の受 電実態 —令和6年奥能登豪雨時の輪島 市を事例として—	共著	2025年5月	地域安全学会	2025年地域安全学会梗概集 No.56, 中本 健太らと共著, pp.273-276
孤立地域発生時における情報整理のプロセ ス —奥能登豪雨時の輪島市を事例として —	共著	2025年5月	地域安全学会	2025年地域安全学会梗概集 No.56, 有吉 恭子らと共著, pp.261-264
災害対策本部会議資料フォーマット導入に よる有効性の検証 —大阪府S市におけ る意思決定時間短縮を目指した訓練事例	共著	2025年10月	地域安全学会	2025年地域安全学会梗概集 No.57, 塩津 達哉らと共著, pp.97-100
災害時避難所における運営組織体制の実態 —20避難所調査に基づく分析	共著	2025年10月	地域安全学会	2025年地域安全学会梗概集 No.57, 有吉 恭子らと共著, pp.113-116
都市部における住宅火災の被害特性に関す る基礎的研究 —吹田市の火災実績を事 例として	共著	2025年10月	地域安全学会	2025年地域安全学会梗概集 No.57, 柴野 将行らと共著, pp.139-142
(その他、論考・研究資料等)				
阪神・淡路大震災復興がもたらした都市防 災とは	単著	2025年3月11日	日本災害復興学会	日本災害復興学会学会誌「復興」第34号, pp.31-37
阪神・淡路大震災から30年③・・建築と都 市の復興から	単著	2025年10月1日	建築研究振興協会	建築の研究第274号, pp.13-16
北但馬地震100年と城崎火災	単著	2025年7月9日	日本災害復興学会	日本災害復興学会 News letter, P4
将来性を加味した南海トラフ巨大地震の被 害と復旧・復興	単著	2025年3月	ひょうご震災記念21 世紀研究機構	南海トラフ地震及び首都直下地震を対象 とした被害軽減に関する研究 南海トラ フ地震部会 —まちづくり分科会 — 研究調査最終報告書, pp.1-16
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
ICS視点からみた災害時保健活動チームの 組織構造 —令和6年能登半島地震の事例 —	共同	2025年11月8日	災害情報学会	日本災害情報学会第31回学会大会, 大阪 府高槻市
災害対策本部会議における意思決定の迅速 化に向けた取り組み —大阪府S市の事例	共同	2025年11月8日	災害情報学会	日本災害情報学会第31回学会大会, 大阪 府高槻市
避難所運営業務における自治体と外部機関 との役割 —被災地の実態分析を通じて —	共同	2025年11月8日	災害情報学会	日本災害情報学会第31回学会大会, 大阪 府高槻市
From Scenario Simulation to Policy Dialogue: Enhancing Inclusive Recovery through Evidence-Based Planning	単独	2025年7月	Global Alliance of Disaster Research Institute	7th Global Summit of GADRI, Colorado, USA
Preparedness for Build Back Better — Modeling of Recovery scenarios simulation —	単独	2025年7月	Global Alliance of Disaster Research Institute	7th Global Summit of GADRI, Colorado, USA
(招待講演)				
セッション3 法律・制度・市民の意識の変 化と課題 モデレーター	単独	2025年1月7日	防災学術連携体	防災学術連携体シンポジウム「阪神・淡 路大震災30年社会と科学の新たな関係」, オンライン

研 究 業 績

災害時における行政及び警察組織の対応及び備えについて	単独	2025年1月20日	兵庫県議会	警察常任委員会における特定テーマに関する調査研究, 兵庫県神戸市
パネルディスカッション コーディネーター	単独	2025年2月28日	大阪府市町村振興協会	令和6年度多様な視点を活かした避難所運営ができる仕組みづくり研究会 研究成果報告会, 大阪府大阪市
広域避難と生活再建	単独	2025年10月11日	人と防災未来センター	災害対策専門研修 エキスパートコース B, 兵庫県神戸市
災害復興とレジリエンス	単独	2025年11月15日	立命館大学災害危機レジリエンス研究センター	立命館大学災害危機レジリエンス研究センター 設立記念シンポジウム 「レジリエント・シティ京都 ― 災害・危機を乗り越える ―」, 京都府京都市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究補助金・基盤研究 A	代表	2023-2026	11,900 (36,000)	「復興の総合知」を用いた災害復興社会のシミュレーションと最適戦略策定手法の提案
河川情報センター研究助成	代表	2024-2025	1,610 (2,610)	大規模水害復興による土地利用・土地所有構造の変化
以下, フリー記入				
(所属学会)				
日本建築学会 都市計画委員会 小委員会				
日本建築学会 学会誌編集委員会 幹事				
日本都市計画学会 防災復興特別委員会				
地域安全学会 理事				
日本災害情報学会 編集委員会				
日本火災学会				
日本災害復興学会				
都市住宅学会				
日本危機管理防災学会				
(社会貢献活動)				
高槻市市民防災協議会 アドバイザー				
ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター 上級研究員				
福島県 東日本大震災・原子力災害伝承館 客員研究員				
金沢市防災アドバイザー				
大阪府市町村振興協会「多様な視点を活かした避難所運営ができる仕組みづくり研究会」 指導助言者				
(その他業績として記載を希望する事項)				
内閣府防災 防災スペシャリスト養成企画検討会 委員				
大阪府都市計画審議会 委員				
大阪府住生活審議会耐震改修促進計画推進部会 委員				
高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略 委員				
京都府戦略的地震防災対策推進部会 委員				
橿原市新本庁舎建設検討委員会 委員				
金沢市震災対策アドバイザー会議 委員				
吹田市防災会議 委員				
吹田市環境評価委員審査会 委員				

■ 小山 倫 史

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) “縮退集落”における地区防災計画の意義 — 福井市高須町8年度間の実践にみる主 体のありかた —	共著	2025年8月24日	地区防災計画学会	近藤誠司, 小山倫史, 地区防災計画学会 誌, 2025: 33 (査読有り)
(その他, 論考・研究資料等) 地質分野における生成 AI の活用事例と展 望	単独	2025年11月20日	(一社) 全国地質調 査業協会連合会	地質と調査, 2025; 2 (166): 17-23 (査読 有り)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 京丹波町における土砂災害に対する早期警 戒・避難を啓発する防災番組の共同制作	共同	2025年7月22～ 25日	地盤工学会	黒田さくら, 小山倫史, 近藤誠司, 西村 公貴, 第60地盤工学研究発表会講演概要 集, 2025, Paper ID: 24-12-2-02, pp.1-2 (山口県下関市)
福井市高須町における Google Earth を用い た住民参加型ハザードマップの構築	共同	2025年7月22～ 25日	地盤工学会	浅井奏音, 小山倫史, 近藤誠司, 第60地 盤工学研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: 24-12-2-01, pp.1-2 (山口県 下関市)
三次元レーザー計測による地震後の七尾城 跡石垣の変状分析	共同	2025年7月22～ 25日	地盤工学会	田中神優, 小山倫史, 山中稔, 北林雅康, 第60地盤工学研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: DS-9-01, pp.1-2 (山口 県下関市)
常時微動計測を用いた前田利長墓所におけ る令和6年能登半島地震被害の要因分析	共同	2025年7月22～ 25日	地盤工学会	原幸平, 小山倫史, 佐伯貴之, 田上和彦, 第60地盤工学研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: DS-9-03, pp.1-2 (山口 県下関市)
三次元点群データを用いた差分解析による 前田利長墓所の地震後の変状分析	共同	2025年7月22～ 25日	地盤工学会	小山倫史, 原幸平, 佐伯貴之, 田上和彦, 第60地盤工学研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: DS-9-02, pp.1-2 (山口 県下関市)
常時微動計測を用いた令和6年能登半島地 震における高岡城石垣被害の要因分析.	共同	2025年9月8～ 12日	土木学会	原幸平, 小山倫史, 佐伯貴之, 田上和彦, 土木学会第80回年次学術講演会講演概要 集, 2024, Paper ID: 11AM1-Vo-05, pp.1-2 (熊本県熊本市)
2024年能登半島地震で被災した金沢城跡御 居間先下石垣の変形要因と変形進展に関す る調査事例	共同	2025年9月18～ 19日	日本自然災害学会	山中稔, 小山倫史, 中澤博志, 原幸平, 第44回日本自然災害学会学術講演会講演 概要集, paper ID: A-7-4, pp. 1-2 (北海 道札幌市).
京丹波町における土砂災害の早期警戒・避 難啓発のための防災番組による情報発信の 分析.	共同	2025年11月5日	地盤工学会関西支部	黒田さくら, 小山倫史, 近藤誠司, 西村 公貴, Kansai Geo-Symposium 2025 — 地下水地盤環境・防災・計測技術に関す るシンポジウム — 論文集, pp.175-180, 2025 (関西大学, 大阪府吹田市) (査読有 り).
令和6年能登半島地震による高岡城石垣の 変状分析	共同	2025年11月5日	地盤工学会関西支部	原幸平, 小山倫史, 田上和彦, 佐伯貴之, Kansai Geo-Symposium 2025 — 地下 水地盤環境・防災・計測技術に関するシ ンポジウム — 論文集, pp.32-35, 2025. (関西大学, 大阪府吹田市) (査読有り).
(招待講演) 土砂災害における早期警戒・避難に向けた 防災気象情報の活用	単独	2025年8月3日	兵庫県	令和7年度但馬地域ひょうご防災リーダ ー養成講座, 豊岡市民会館, 兵庫県豊岡 市
土砂災害における早期警戒・避難に向けた 防災気象情報の活用	単独	2025年10月11日	兵庫県	令和7年度ひょうご防災リーダー養成講 座, 兵庫県広域防災センター, 兵庫県三 木市.

研 究 業 績

事前通行規制の規制時間短縮のための土壌雨量指数を用いた検証	共同	2025年12月5日	和歌山県	2025年度和歌山県建設技術協会技術講習会、和歌山県自治会館、和歌山県和歌山市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 国土交通省近畿地方整備局・新都市社会技術融合創造研究会	研究代表者	2024～2027年	8,500 (25,000)	道路地下埋設物の三次元データ取得方法の検討およびその施工・維持管理における利活用に関する研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	研究分担者	2023～2026年	400 (18,590)	不飽和地盤の微生物固着プロセスシミュレータの開発：遺構の基礎修復の理想像に向けて (代表：橋本涼太, 京都大学)
国土技術政策総合研究所、令和5年度道路政策の質の向上に資する技術研究開発	研究分担者	2023～2026年	220 (21,879)	事前通行規制基準の『時間的』・『空間的』適正化に関する技術研究開発 (代表：岸田潔, 京都大学)
以下、フリー記入				
(所属学会)				
土木学会				
地盤工学会				
資源・素材学会				
岩の力学連合会				
地下水学会				
地すべり学会				
計算工学会				
地域安全学会				
文化財保存科学会				
(社会貢献活動)				
土木学会, 岩盤力学委員会 幹事長				
土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会, 委員長				
土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤動力学に関する研究小委員会, 委員				
土木学会, 岩盤力学委員会 論文小委員会, 委員				
土木学会, 土木学会論文集F2分冊編集小委員会兼地下空間シンポジウム表彰委員会, 委員				
土木学会, 地下空間研究委員会, 委員				
土木学会, 地下空間研究委員会 維持管理小委員会, 委員				
国際地盤工学会アジア地域技術委員会 ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia), 委員				
地盤工学会関西支部, データ連携による(スマート)斜面防災DX: 豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会, 委員				
地盤工学会関西支部, 地盤構造物の長期性能評価とモニタリング技術の高度化に関する研究委員会, 委員				
International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission), member				
International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Grouting, member				
岩の力学連合会, 広報委員会, 委員				
国土交通省近畿地方整備局, 道路防災ドクター				
国土交通省近畿地方整備局, トンネルアドバイザー				
国土交通省近畿地方整備局, 技術スペシャリスト会議 トンネル技術研究会, 委員				
国土交通省近畿地方整備局, 国道169号下北山村上池原地区防災対策検討委員会, 委員				
大阪府, 道路防災対策等に関する技術検討会, 委員				
奈良県, 奈良県道路斜面防災点検検討委員会, 委員				
和歌山県, 和歌山県事前通行規制の見直し検討委員会, 委員				
猪名川町教育委員会, 猪名川町多田銀銅山遺跡保存活用委員会, 委員				
西日本高速道路株式会社, 関西支社技術アドバイザー				
阪神高速先進技術研究所, 土工構造物検討委員会, 委員				
阪神高速先進技術研究所, 土木構造物点検診断技術者資格認定委員会, 委員				
西日本旅客鉄道(株), コンクリート構造物の維持管理技術に関する検討委員会, トンネル分科会, 委員				

原子力発電環境整備機構 (NUMO), 技術アドバイザー委員会, 委員 日本原子力研究開発機構 (JAEA), ニアフィールド長期環境変遷評価技術開発委員会, 委員
(その他業績として記載を希望する事項) 地盤工学会, 地盤工学貢献賞, 受賞 (2025年4月24日) 令和6年度地盤工学会関西支部賞, 社会貢献賞, 受賞 (受賞業績名: 画像処理による金沢城文化財石垣の崩落石材同定手法の開発, 2025年4月24日) 【記事掲載】「記録的短時間大雨情報, 今年160回以上…土砂災害リスクも 「非常事態」の意識を」, 産経新聞, 2025年11月17日, 夕刊 2面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【記事掲載】「参院選2025 群馬の現場」(6) インフラ点検 DX化へ」, 読売新聞, 2025年7月15日, 朝刊 25面 群馬県におけるインフラ (社会基盤) に対応する職員数が減少傾向で, 県が作業の省力化を目指していることについて, 地盤工学の専門家としてコメント。 【記事掲載】「各地で梅雨入り, 土砂災害に警戒高まる 「雨量判定図」活用を」, 産経新聞, 2025年6月16日, 夕刊 2面「関大 社会安全学部 リレーコラム」 【記事掲載】「干渉 SAR 地表変動 宇宙から見守る 陥没リスク察知へ活用期待」, 産経新聞, 2025年3月23日, 朝刊第1社会 八潮市の道路陥没事故を受けて, インフラの維持管理の課題, 干渉 SAR 活用の利点について地盤工学の専門家としてコメント 【記事掲載】「後手に回るインフラ管理 早急に」, 産経新聞, 2025年2月17日, 夕刊 2面「関大 社会安全学部 リレーコラム」

研究業績

■ 近藤 誠 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 阪神・淡路大震災30年 いのちを守る災害 報道 地域に根ざしたメディアの挑戦	共同	2025年4月	地方の時代映像祭実 行委員会	第44回地方の時代映像祭シンポジウム 「阪神・淡路大震災30年 いのちを守る災 害報道 地域に根ざしたメディアの挑戦」 報告書 pp.33-48.
いのちのメッセージ 災害情報学の贈り物	単著	2025年12月	関西大学出版部	「こころの災害情報学シリーズ」第5巻、 全225頁
(学術論文) 大学生を対象とした災害報道版クロスロ ードの試行	共著	2025年4月	関西大学社会安全学 部	社会安全学部研究, 第15巻, 近藤誠司・ 岩本乃蒼, 査読なし(研究ノート) pp.121-128.
初の「南海トラフ地震臨時情報」発表に関 する実態調査 — 新聞報道の内容分析と 大学生対象のアンケートから —	単著	2025年6月	防災教育学会	防災教育学会5-2, pp.59-64.
津波避難の「呼びかけコメント」の検討手 法に関する考察	共著	in printng	関西大学社会安全学 部	社会安全学部研究, 第16巻, 近藤誠司・ 岩本乃蒼・福本晋悟, 査読なし(研究ノ ート)
災害系リスクと生活系リスクの死者発生数 のイメージ — 日本の高校生を対象とし たアンケートの分析 —	共著	in printng	関西大学社会安全学 部	社会安全学部研究, 第17巻, 近藤誠司・ 只 子涵, 査読なし(研究ノート)
手作りのローカルメディアが高齢者の防災 意識に与える影響 — 大阪府島本町 防 災かわら版「まるっとしまもっと」を例に —	単著	in printng	日本災害福祉研究会	『災害福祉研究』Vol.2(査読あり)
BCPを補完するための“ジレンマ・ダイア ログ演習”の検討 — 大阪府高槻市介 護保険事業者協議会における実践事例 —	共著	in printng	日本災害福祉研究会	『災害福祉研究』Vol.2, 濱崎真乃・近藤 誠司(査読あり)
京丹波町における土砂災害の早期警戒・避 難啓発のための防災番組による情報発信の 分析	共著	2025年	地盤工学会	Kansai Geo-Symposium 2025 — 地下 水地盤環境・防災・計測技術に関するシ ンポジウム — 論文集, pp.175-180, 2025.(査読付き)黒田さくら・小山倫史・ 近藤誠司・西村公貴
京丹波町における土砂災害に対する早期警 戒・避難を啓発する防災番組の共同制作	共著	2025年	地盤工学会	第60地盤工学研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: 24-12-2-02, pp.1-2(査 読なし)黒田さくら・小山倫史・近藤誠 司・西村公貴
福井市高須町におけるGoogle Earthを用い た住民参加型ハザードマップの構築	共著	2025年	地盤工学会	第60地盤工学研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: 24-12-2-01, pp.1-2(査 読なし)浅井奏音・小山倫史・近藤誠司
“縮退集落”における地区防災計画の意義 — 福井市高須町 8年度間の実践から —	単独	2025年3月1日	地区防災計画学会	地区防災計画学会第11回大会, オンライ ン
阪神・淡路大震災30年 神戸市港島地区に おける防災・復興意識調査	共著	2025年10月12日	日本災害復興学会	日本災害復興学会大会2025阪神大会, 関 西学院大, 近藤誠司・清水一花
災害報道の評価手法に関する研究 長野県千曲川水害の被災経験者を対象とし た「防災・復興曲線」調査の続報	共著	2025年10月12日	日本災害復興学会	日本災害復興学会大会2025阪神大会, 関 西学院大学, 岩本乃蒼・近藤誠司
(その他, 論考・研究資料等) 京丹波町自主放送事業アンケート(令和6 年度実施) — 調査結果報告書 —	単著	2025年3月	京都府京丹波町	京丹波町公式ウェブサイト
百世安堵46「正月のまさかと向き合おう」	単著	2025年1月	稲むらの火の館	やかただより No.171
百世安堵47「傍流のすすめ」	単著	2025年2月	稲むらの火の館	やかただより No.172
百世安堵48「伝承・伝達・継承」	単著	2025年3月	稲むらの火の館	やかただより No.173
百世安堵49「昭和南海地震のこと」	単著	2025年4月	稲むらの火の館	やかただより No.174
百世安堵50「坊ちゃんに想う」	単著	2025年5月	稲むらの火の館	やかただより No.175
百世安堵51「災害支援とエンバシー」	単著	2025年6月	稲むらの火の館	やかただより No.176

社会安全学研究 第16巻

百世安堵52「ラジオ百年」	単著	2025年7月	稲むらの火の館	やかただより No.177
百世安堵53「トボフィリア」	単著	2025年8月	稲むらの火の館	やかただより No.178
百世安堵54「人間性を重視しよう」	単著	2025年9月	稲むらの火の館	やかただより No.179
百世安堵55「カムチャツカ半島沖地震」	単著	2025年10月	稲むらの火の館	やかただより No.180
百世安堵56「欠測値の価値」	単著	2025年11月	稲むらの火の館	やかただより No.181
百世安堵57「狐と鶴と人間と」	単著	2025年12月	稲むらの火の館	やかただより No.182
広報京丹波 安心はっと便り	単著	隔月発刊	京都府京丹波町	広報京丹波No.231, 233, 235, 237, 239, 241
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演)				
防災福祉クロスロード	単独	2025年1月17日	高槻市介護事保険業者協議会	高槻市介護保険事業者協議会防災対策部会「災害対策研修」, 高槻市役所総合センター6階C601会議室
巨大地震に立ち向かうために 医療・介護 BCP から BCM へ	単独	2025年1月20日	堺地域「医療と介護の連携強化」病院連絡協議会	堺市における医療と介護を考える研修, 堺市総合福祉会館5階大研修室
みんなで取り組む笑顔のぼうさい BCP 策定のコツとツボ	単独	2025年1月24日	医療的ケア見受け入れ施設BCP作成事業	BCP作成事業第5回ミーティング, 小規模保育園キコレ
阪神・淡路大震災30年 神戸市港島地区における防災・復興意識調査	共同	2025年1月31日	港島地区防災対策委員会	港島地区防災対策委員会, 港島ふれあいセンター
第6回 7社合同若手勉強会 南紀・串本フィールドワーク研修	単独	2025年2月7日	関西NHK民放連携プロジェクト	第6回 7社合同若手勉強会 南紀・串本フィールドワーク研修, 和歌山県串本町役場
ようこそ! 関西大学 社会安全学部へ	単独	2025年2月8日	福島県西郷村立羽太小学校	関西大学高槻ミュージックキャンパス・ミュージックホール
巨大災害に立ち向かうために ～連携・福祉・計画～	単独	2025年2月13日	草津市危機管理課	令和6年度東海道五十三次市区町災害時相互応援に関する協定防災担当者会議, 草津市役所
みんなのぼうさい ～2024年度プロジェクト報告～	共同	2025年2月25日	京丹波町役場	京丹波町×関西大学社会安全学部活動報告会, 近藤誠司・小山倫史
「わたし」と「みんな」の防災計画 ホーリスティックな観点から	単独	2025年3月1日	地区防災計画学会	シンポジウム 阪神・淡路大震災30年を受けた地区防災計画づくりの在り方, オンライン
阪神・淡路大震災30年 守りたい, だから伝える	共同	2025年3月2日	関西NHK民放連携プロジェクト	関西NHK民放連携プロジェクト シンポジウム&上映会 コメントーター, 人と防災未来センター
防災の輪を広げるために えふえむ草津「ハッピーぼうさい」の挑戦 一歩ふみだそう! みんなが安心できる避難所づくり	共同	2025年3月3日	滋賀県	第94回しが防災カフェ, 滋賀県庁危機管理センター
117と311 実践と教育・研究のチャレンジ	単独	2025年3月11日	福島県西郷村立羽太小学校	羽太小学校第3回防災交流授業, 福島県西郷村立羽太小学校
巨大地震に立ち向かうために ～我が事にする, 我々事にする～	単独	2025年3月18日	映像メディアと公共性研究会	映像メディアと公共性研究会, オンライン
みんなのぼうさい ～Docchimoで, 防災力アップ～	単独	2025年4月18日	尼崎看護専門学校	「災害と国際看護」, 尼崎看護専門学校
リスクコミュニケーション技法 「伝える・書く」	単独	2025年4月25日	大阪府立北野高校	大阪府立北野高校防災研修, 北野高校
南海トラフ地震に備える ～我が事にする, 我々事にする～	単独	2025年5月7日	香川大学 四国防災共同教育センター	四国防災・危機管理プログラム, オンライン
巨大災害に立ち向かう ～我が事にする, 我々事にする～	単独	2025年5月13日	草津市商工会議所	草津市商工会議所火曜会, 草津市商工会議所
みんなのぼうさい ～福祉力は防災力～	単独	2025年6月9日	京都府立木津高校	防災授業, 京都府立木津高校視聴覚教室
	単独	2025年6月18日	高槻市介護保険事業者協議会	高槻市介護保険事業者協議会10周年記念講演会, 高槻城公園芸術文化劇場太陽ファルマテックホール

研究業績

防災学習 オリエンテーション	単独	2025年6月20日	京都府立蒲生野中学校	京都府立蒲生野中学校防災交流授業
我が事に、我々事に ～防災教育の学び合い～	単独	2025年6月25日	高槻市第八中学校区	高槻市第八中学校区令和7年度小中合同 授業研究会、高槻市立磐手小学校
命を守る災害報道の重要性 関西圏の取り組みを中心に	単独	2025年7月4日	震災対策技術展	第12回「震災対策技術展」in 大阪、マイ ドームおおさか
地域の力と これからの減災	単独	2025年7月5日	高槻市今城塚公民館	地域連携減災講座、今城塚公民館
ほうさいの輪を広げよう ～防災教育・安全管理・地域連携～	単独	2025年7月7日	茨木高校	茨木高校教職員対象防災講習会、茨木高 校
災害情報とリアリティ	単独	2025年7月16日	京都大学大学院情報 学研究科	京都大学大学院情報学研究科、京都大学 吉田キャンパス
危機管理下の情報発信 ——マスコミ対応の在り方も含めて——	単独	2025年7月31日	全国市町村国際文化 研修所	令和7年度 管理職のためのクライシ ス・コミュニケーション ～危機に直面 したときの適切な情報発信～、全国市町 村国際文化研修所
語ること、考えること	単独	2025年8月3日	多文化共生デイベー ビス三和之家	戦後80年 戦争体験と傾聴の集い&交流 会、多文化共生デイベービス三和之家
巨大災害に立ち向かう ～我が事に、我々事に～	単独	2025年9月11日	中央労働災害防止協 会	第84回（令和7年度）全国産業安全衛生 大会 安全管理活動分科会、インテックス 大阪科会
BCP 研修	単独	2025年9月12日	高槻市介護保険事業 者協議会	高槻市介護保険事業者協議会防災研修、 クロスパル高槻
元気と笑顔が防災の源 ～ご多幸を祈念して～	単独	2025年9月15日	京丹波町蒲生野区	京丹波町蒲生野区 敬老祝賀会、区民會 館
みんなのほうさい 福祉と防災をつなぐ“まなび合い”	単独	2025年9月20日	稲むらの火の館	世界津波の日制定10周年記念事業 第23 回稲むらの火講座、稲むらの火の館
南海トラフ地震に 立ち向かう	単独	2025年9月21日	尼崎市聴力障害者福 祉協会	尼崎市聴力障害者福祉協会 防災講演会、 尼崎市立身体障害者福祉会館
巨大災害に立ち向かう 山田学区で求められること	単独	2025年9月23日	草津市山田学区まち づくり協議会	草津市山田学区防災講演会、山田学区ま ちづくりセンター
南海トラフ地震に立ち向かう 試される地域の総力	単独	2025年9月27日	高槻市日吉台コミュ ニティ	第2回 防災福祉連絡会、しんわ会館
マネジメントと情報 COPとリアリティ	単独	2025年10月3日	EJ アカデミー	EJ アカデミー1、命を守るための災害情 報学Ⅲ、オンライン
多様な主体による連携 防災福祉の観点	単独	2025年10月10日	EJ アカデミー	EJ アカデミー2、命を守るための災害情 報学Ⅲ、オンライン
クロスロード演習 リアリティを共同構築する技法	単独	2025年10月17日	EJ アカデミー	EJ アカデミー3、命を守るための災害情 報学Ⅲ、オンライン
南海トラフ地震に立ち向かうために ～防災力と福祉力を高めよう～	単独	2025年10月21日	大阪 DWAT 三島園 域	大阪 DWAT 三島園域防災研修会、大阪 府三島府民センター4階第1会議室
災害情報学が向かう地平 まなび愛・いのち・リアリティ	単独	2025年10月24日	EJ アカデミー	EJ アカデミー4、命を守るための災害情 報学Ⅲ、オンライン
みんなのほうさい ～まなび合い、まなび愛～	単独	2025年11月5日	大阪府立高槻北高校	大阪府立高槻北高校防災講演会
生成 AI の利活用について	単独	2025年11月17日	映像メディアと公共 性研究会	映像メディアと公共性研究会、オンライ ン
みんなのほうさい ～いのちを守り切るために～	単独	2025年11月21日	大阪府立北摂つばさ 高校	大阪府立北摂つばさ高校防災教室
ともに語ろう、津波避難 ～みんなの力で 防災力UP 作戦～	共同	2025年12月6日	串本町・関西民放 NHK 連携プロジェ クト	串本町・関西民放 NHK 連携プロジェク トシンポジウムのコーディネーター、串 本町役場
地区防災計画と 地域防災の実践活動	単独	2025年12月7日	兵庫県	令和7年度 ひょうご防災リーダー養成 講座、兵庫県広域防災センター
阪神・淡路大震災からの学び いのち・学び愛・次代につなぐ	単独	2025年12月7日	地域を結ぶ笑顔の会 「防災・未来への集 い」実行委員会	阪神・淡路大震災 防災・未来への集い、 尼崎市立小田北生涯学習プラザ1階講堂
巨大災害をイメージする いのちを守り切るために	単独	2025年12月10日	大阪公立大学大学院 都市経営学研究科	枚方市立総合福祉会館（ラポールひらか た）

防災・減災について考えよう	単独	2025年12月11日	京都市府更生保護女性連盟	京都市府更生保護女性連盟公開シンポジウム, 京都市立京都学・歴彩館
巨大災害に立ちむかう ～つながりをチカラに！～	単独	2025年12月13日	兵庫県尼崎市難病患者団体連絡協議会	兵庫県尼崎市難病患者団体連絡協議会防災講演交流会, 小田南生涯学習プラザ3階ホール
災害報道の意義と困難性 ～クロスロード演習で考える～	単独	2025年12月19日	東北公益文科大	東北公益文科大「ジャーナリズムの倫理」
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業	代表	2025年度	300	難病患者・障害児者の防災力向上プロジェクト
大阪府社会福祉協議会にじいろみらい基金	代表	2025年度	100	大阪府島本町防災かわら版プロジェクト
関西大学 2025年度地域連携活動に対する補助事業	代表	2025年度	100	津波避難意思の醸成・維持プロジェクト
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本災害情報学会 理事				
日本災害復興学会 理事				
地区防災計画学会 幹事				
社会貢献学会 理事				
日本自然災害学会				
日本安全教育学会				
防災教育学会				
日本災害福祉研究会				
(その他業績として記載を希望する事項)				
京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 客員教授				
徳島大学大学院創生科学研究科 非常勤講師				
京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 運営協議会委員				
堺市南区政策会議 座長				
尼崎市社会保障審議会地域福祉専門分科会計画策定部会 特別委員				
関西民放NHK 連携プロジェクト アドバイザー				
NHK 大阪放送局「関西ラジオワイド・防災コラム」レギュラーコメンテーター				
滋賀県草津市山田小学校区まちづくり協議会 アドバイザー				
えふえむ草津「HappyBOUSAi」第183回～第206回 放送(台本監修)				
あま咲き放送局「あま咲き防災ラボ」第66回～第117回 放送(台本監修)				
「1.17防災未来賞・ほうさい甲子園」グランプリ(10年連続入賞・2度目のグランプリ)				
震災30年 特別企画「震災伝承」実践者からのメッセージ 制作協力				
NHK 静岡放送局「いのちを守る防災ボイス」ウェブコンテンツ制作協力				
高槻市日吉台マンションコアティ防災交流会に参加(2025.3.9.)				
高槻市日吉台コミュニティ防災訓練に参加(2025.6.15.)				
福井市高須町防災訓練企画・参加(2025.6.22.)				
千里山住宅防災交流会企画・参加(2025.7.6.)				
しが防災フェア企画・参加(2025.8.8.)				
島本町社協祭りに防災ブースを出展(2025.9.21.)				
特別養護老人ホーム喜楽苑の防災訓練に参加(2025.9.28. 尼崎市喜楽苑)				
尼崎市市民祭りに防災ブースを出展(2025.10.5.)				
京丹波町松山区防災運動会に参加(2025.10.5.)				
草津市山田学区の防災訓練に参加(2025.11.9.)				

研 究 業 績

■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 特殊な仕組みで感染症対策が動いている日本	単著	2025年1月	じほう	調剤と情報 31巻 2号 1月臨時増刊号 12-18.
新型コロナウイルス感染症流行後の公衆衛生を展望する	単著	2025年5月	大阪府保険医協会	大阪保健医雑誌, NO.705号, 4-7.
公衆衛生の温故知新 — 医制発布から COVID-19まで —	単著	2026年1月	医学書院	公衆衛生 90巻 1号 4-12.
(その他, 論考・研究資料等) 建築物環境衛生の歴史的意義	共著	2025年3月	日本建築衛生管理教育センター	新建築物の環境衛生管理第2版 上巻 20-34
建築物環境衛生管理業務	共著	2025年3月	日本建築衛生管理教育センター	新建築物の環境衛生管理第2版 上巻 35-54
多田羅浩三先生を追悼する	単著	2025年5月	医学書院	公衆衛生 89巻 5号 456-457
フェーズフリーの被災者支援体制への期待		2025年9月	ひょうご震災記念21世紀研究機構	研究レター「Hem21 Opinion」Vol.91 2025年9月号
(論文翻訳監修) 2019年の0-14歳の小児の結核性髄膜炎の世界的負担の推計 Global burden of tuberculous meningitis in children aged 0-14 years in 2019: a mathematical modelling study Department of Paediatrics and Child Health, Stellenbosch University, Cape Town, South Africa. Electronic address: Lancet Glob Health. 2025 Jan; 13(1): e59-e68. doi: 10.1016/S2214-109X (24) 00383-8.	翻訳監修	2025年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202502ta/
イングランドの5800万人を対象とした病院データベースをもとにした331の希少疾患および関連する COVID-19関連死亡の有病率および人口統計学的分析：後ろ向き観察研究 Prevalence and demographics of 331 rare diseases and associated COVID-19-related mortality among 58 million individuals: a nationwide retrospective observational study Lancet Digit Health. 2025 Feb; 7(2): e145-e156. doi: 10.1016/S2589-7500 (24) 00253-X.	翻訳監修	2025年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202503ta/
サーファクタント関連疾患の小児期間質性肺疾患における LAMP3 の両対立遺伝子変異の分析 Bi-allelic LAMP3 variants in childhood interstitial lung disease: a surfactant-related disease EBioMedicine. 2025 Feb 28;113:105626. doi: 10.1016/j.ebiom.2025. 105626.	翻訳監修	2025年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202504ta/

<p>びまん性皮膚硬化型全身性強皮症患者の活動性のバイオマーカーとしてのI型インターフェロン血清スコアの有用性の検討：後ろ向きコホートによる研究 Serum type I interferon score as a disease activity biomarker in patients with diffuse cutaneous systemic sclerosis: a retrospective cohort study <i>Lancet Rheumatol.</i> 2025 Mar 31; S2665-9913(24)00403-X. doi: 10.1016/S2665-9913(24)00403-X. Online ahead of print.</p>	翻訳監修	2025年4月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202505ta/
<p>成人発症の孤発性脊髄小脳変性症の遺伝的背景：多施設共同縦断的SPORTAXコホートにおける発症患者377例の多面的遺伝学研究 The genetic landscape of sporadic adult-onset degenerative ataxia: a multi-modal genetic study of 377 consecutive patients from the longitudinal multi-centre SPORTAX cohort <i>EBioMedicine.</i> 2025 May; 115: 105715. doi: 10.1016/j.ebiom.2025.105715. Epub 2025 Apr 23.</p>	翻訳監修	2025年5月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202506ta/
<p>Y染色体喪失がパーキンソン病のリスクおよび進行に及ぼす影響 Impact of Y chromosome loss on the risk of Parkinson's disease and progression <i>EBioMedicine.</i> 2025 May 29; 117: 105769. doi: 10.1016/j.ebiom.2025.105769. Online ahead of print.</p>	翻訳監修	2025年6月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202507ta/
<p>Rare variants and survival of patients with idiopathic pulmonary fibrosis: analysis of a multicentre, observational cohort study with independent validation <i>Lancet Respir Med.</i> 2025 June; 13(6): 495-504. doi: 10.1016/S2213-2600(25)00045-1. Epub 2025 Apr 28.</p>	翻訳監修	2025年7月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202508ta/
<p>乾癬性関節炎および体軸性脊椎関節炎に対するTNF阻害薬の目標達成漸減治療法の24ヵ月間の有効性評価：DRESS-PS試験の延長研究 Effectiveness of treat-to-target tapering of TNF inhibitors for psoriatic arthritis and axial spondyloarthritis in the Netherlands: 24-month follow-up of the DRESS-PS trial <i>Lancet Rheumatol.</i> 2025 Sep; 7(9): e642-e651. doi: 10.1016/S2665-9913(25)00070-0. Epub 2025 Jul 24.</p>	翻訳監修	2025年8月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202509ta/
<p>気管支拡張症患者の症状と将来の増悪リスク因子との関連及び長期マクロライド系薬療法の意義の検討：観察研究 Symptoms, risk of future exacerbations, and response to long-term macrolide treatment in bronchiectasis: an observational study <i>Lancet Respir Med.</i> 2025 Aug 27; S2213-2600(25)00160-2. doi: 10.1016/S2213-2600(25)00160-2. Online ahead of print.</p>	翻訳監修	2025年9月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202510ta/

研究業績

急性呼吸窮迫症候群の発症感受性に関するゲノムワイド関連解析 Genome-wide association study of susceptibility to acute respiratory distress syndrome EBioMedicine 2025 Oct; 120: 105951. doi: 10.1016/j.ebiom.2025.105951. Epub 2025 Sep 30.	翻訳監修	2025年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202511ta/
ナトリウム・グルコース共輸送体-2阻害薬の自己免疫性リウマチ性疾患のリスク評価：地域ベースの大規模コホートによる研究 Sodium-glucose cotransporter-2 inhibitors and risk of autoimmune rheumatic diseases: population based cohort study BMJ 2025; 391: e085196. doi: 10.1136/bmj-2025-085196.	翻訳監修	2025年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202512ta/
抗NMDA 受容体脳炎患者に対するファーストライン免疫療法後の長期の転帰・改善予測のスコア（NEOS2）の開発と妥当性の検証：国際コホート研究 Development and validation of the NEOS2 score for prediction of long-term outcomes and improvement after first-line immunotherapy in patients with anti-NMDAR encephalitis: an international cohort study The Lancet Regional Health - Europe 2026; 62: 101562	翻訳監修	2025年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/updates/202501ta/
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) シンポジウム 防災への対応は保健師活動の重要な課題 ～住民と取り組む日頃の学習と組織づくりと災害への備え 市民公開講座 優生保護法下での不妊手術に対する社会医学会の責任ある立場を考える 学会として歴史を振り返る シンポジウム 複数災害に備えたフェーズフリーの広域災害対応 災害時の被災者の健康支援活動の到達点と課題	単独 単独 単独	2025年2月8日 2025年9月6日 2025年10月31日	全国保健師活動研究集会 日本社会医学会 日本公衆衛生学会	第57回全国保健師活動研究集会 (横浜市教育会館ホール) 第66回日本社会医学会総会, キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室 第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡市, グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター)
(講演・講義) 阪神淡路大震災を起点とした公衆衛生活動の到達点 看護政策論 国際健康政策学 感染症との共存時代 トークセッション 令和7年度秋期 災害対策専門研修 災害対応各論：健康医療支援活動 公衆衛生における保健師の役割	単独 単独 共同 単独 単独	2025年1月7日 2025年7月26日 2025年8月25～27日 2025年9月25日 2025年10月9日 2025年11月17日	防災学術連携体 関西看護医療大学 大阪大学大学院医学系研究科 (地独) 大阪健康安全基盤研究所 人と防災未来センター 大阪府健康医療部保健師中堅研修	オンライン・シンポジウム 阪神・淡路大震災30年, 社会と科学の新たな関係 オンライン講義 大阪大学大学院医学系研究科最先端医療イノベーションセンター棟 令和7年度大阪府結核・呼吸器感染症予防週間啓発セミナー グラングリーン大阪北館 JAM BASE 6階 人と防災未来センター東館 6階会議室 大阪府庁 本館 5階正庁の間
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会医学会・理事長 日本公衆衛生学会・災害・緊急時公衆衛生活動委員会・委員				

<p>日本結核・非結核性抗酸菌症学会・功労会員</p> <p>(社会貢献活動)</p> <p>大阪府教育委員庁・学校保健指導医(学校保健技師)</p> <p>大阪府立学校職員健康審査会・常任委員</p> <p>大阪府立学校結核対策審議会・委員</p> <p>大阪市結核対策評価委員会・委員</p> <p>東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員</p> <p>東大阪市保健医療問題協議会・委員</p> <p>高槻市地域包括ケア推進会議・委員長</p> <p>高槻市保健医療審議会・委員</p> <p>高槻市感染症診査協議会・委員</p> <p>枚方市健康増進計画審議会・会長</p> <p>公益法人大阪成人病予防協会・評議員</p> <p>医学書院 雑誌公衆衛生・編集委員</p> <p>(公財)日本建築衛生管理教育センター・教務委員会・委員長</p> <p>ストップ結核パートナーシップ日本・理事</p> <p>社会福祉法人大阪社会医療センター・評議員</p> <p>大阪市結核対策評価委員会・委員</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師</p> <p>関西広域防災計画策定委員会・新型インフルエンザ等対策専門部会委員</p> <p>結核研究所研究事業運営委員会・外部委員</p> <p>西成区結核対策委託事業選定会議・委員</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>日本公衆衛生学会認定専門家</p> <p>公益法人結核予防会結核研究所結核指導者養成研修修了者</p>

研究業績

■ 高野 一彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 企業人のためのコンプライアンスリスク マネジメント 新版 実践!コンプライアンス 新版 実践!コンプライアンス<上級編>	単著 監修 監修	2025年8月 2025年2月 2025年4月	PHP 研究所 PHP 研究所 PHP 研究所	1～144頁. 経営倫理実践研究センター編, 1～80頁. 経営倫理実践研究センター編, 1～128頁.
(学術論文) 企業のレジリエンスを高めるリスク・クライシスマネジメント (上) 企業の事件・事故編 企業のレジリエンスを高めるリスク・クライシスマネジメント (下) 感染症パンデミックと巨大地震編	単著 単著	2025年5月 2025年6月	日本監査役協会 日本監査役協会	月刊監査役775号, 42～52頁. 月刊監査役776号, 73～82頁.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会・学術団体発表) 個人情報・営業秘密の保護に関する法制度の成立と過去の法改正のクロノロジー 近年多発する企業事件とコンプライアンスリスクマネジメント	単独 単独	2025年10月31日 2025年12月20日	経営倫理実践研究センター 堀部政男情報法研究会	BERC 法令研究会・関西研究会の共同開催のオープンセミナー, 於BERC 講義室(東京) & オンラインのハイブリッド開催. 新潟大学法学部 鈴木正朝教授とともに登壇. 堀部政男情報法研究会 第2期第7回シンポジウム, オンライン開催.
(招待講演) リスクマネジメント研修 他社事例から学ぶ経営幹部の役割・責任 コンプライアンスリーダーが果たすべき役割 ハラスメント&コンプライアンス コンプライアンス——組織風土改革—— 製品事故の発生を想定したクライシスシミュレーショントレーニング 実効性を高める内部統制フレームワーク 役員のためのコンプライアンス経営 コンプライアンス経営 雪印乳業食中毒事件から学ぶリスク・クライシスマネジメント 倫理的ジレンマと法令——不祥事の要因と発生を防止するための対策——	単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独 単独	2025年2月12日 2025年2月17日 2025年2月28日 2025年3月10日, 11日, 25日 2025年3月18日 2025年3月28日 2025年4月18日 2025年5月9日 2025年6月12日 2025年6月13日 2025年6月13日	清水建設株式会社 東北電力株式会社 株式会社ナカノフド一建設 川重商事株式会社 株式会社サガシキ 神鋼鋼線工業株式会社 新建新聞社 株式会社 日立システムズ ハマダコンフェクト株式会社 雪印メグミルク株式会社 経営倫理実践研究センター	同社 部門長層対象リスクマネジメント研修で招聘講演, 於同社本社(東京). 同社 岩手支社 経営幹部対象コンプライアンス研修で招聘講演, 於同社岩手支社(岩手・盛岡). 同社 役員・コンプライアンスリーダー対象コンプライアンス研修で招聘講演, 於同社本社(東京). 同社 ハラスメント&コンプライアンス研修で招聘講演, オンライン開催. 同社 役員・経営幹部対象コンプライアンス研修で招聘講演, 於同社本社(佐賀). 同社 取締役, 監査役及び経営幹部対象のクライシス・シミュレーション・トレーニング, 於同社本社(大阪). リスク対策.com主催「座学とワークショップで学ぶリスク対策」で招聘講義, 於TIME SHARING 四谷(東京). 同社 2025年度新任役員研修で招聘講演, オンライン開催. 同社 経営者・経営幹部対象コンプライアンス研修で招聘講演, 於同社本社(兵庫). 同社「食責の日」で招聘講演, 於同社本社(東京). BERC 総合研究会で招聘講義, 於BERC 講義室(東京) & オンラインのハイブリッド開催.

いかに不祥事を防ぎ、危機に対応するか — Compliance I から Compliance II へ —	単独	2025年7月3日	PHP 研究所	拙著『企業人のためのコンプライアンスリスク』書籍発刊記念シンポジウムで招聘講演とパネルチェア、於関西大学東京センター（東京）&オンラインのハイブリッド開催。
インターネット・SNSとリスク	単独	2025年7月7日	農林中央金庫	同金庫 インターネット・SNS 人権研修で招聘講演、動画による講義配信。
コンプライアンス	単独	2025年8月1日	東急不動産株式会社	同社 2025年度4年目コンプライアンス研修で招聘講演、於同社本社（東京）。
コンプライアンスと組織風土	単独	2025年10月10日、17日	富士ビジネス株式会社	同社 コンプライアンス研修で招聘講演（4回）、於同社本社（東京）。
情報に関するクライシスを対象としたトレーニング	単独	2025年10月16日	株式会社アデランス	同社 取締役・経営幹部対象のクライシス・シミュレーション・トレーニングで招聘講演、於同社本社（東京）。
企業価値を創造するコンプライアンス経営	単独	2025年10月23日、24日	日本生産性本部	同本部主催 マネジメント・ケイパビリティ役員コースで招聘講演、於同本部講義室（東京）。
コンプライアンス経営	単独	2025年10月27日	中日本高速道路株式会社	同社の2025年度 所長研修で招聘講演、オンライン開催。
リスクマネジメントとコンプライアンス	単独	2025年11月14日	中日本高速道路株式会社	同社の2025年度 部長研修で招聘講演、オンライン開催。
ガバナンス・リスクマネジメント	単独	2025年11月18日、12月4日	イオンフィナンシャルサービス株式会社	同社のガバナンス・リスクマネジメント研修で2回（コースI・II）の招聘講演、於同社本社（東京）。
コンプライアンスの重要性と経営者の役割 — Compliance I から Compliance II へ —	単独	2025年12月1日	日本貨物鉄道株式会社	同社 コンプライアンス研修で招聘講演、於同社本社（東京）。
組織風土とコンプライアンス経営 — Compliance I から Compliance II へ —	単独	2025年12月2日	村田機械株式会社	同社 コンプライアンス研修で招聘講演、オンライン開催。
役員・経営幹部のためのコンプライアンスリスクマネジメント	単独	2025年12月5日	株式会社ナカノフドール建設	同社の役員・コンプライアンスリーダー対象クライシスマネジメント研修で招聘講演、於同社本社（東京）。
個人の倫理観と健全な組織づくり	単独	2025年12月8日、9日、16日	株式会社りそなホールディングス	りそなグループコンプライアンス責任者研修で招聘講演、オンライン開催。
公益通報対応業務従事者が押さえておくべき近年の企業事件・不祥事の事例と動向	単独	2025年12月15日	株式会社商事法務	同社主催の公益通報対応業務従事者向けセミナーで招聘講演、於同社本社（東京）。
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本経営倫理学会 理事（2011年6月～2017年6月）、常任理事（2017年7月～2025年6月）、同学会クライシスマネジメント研究部会長（2023年8月～2025年6月）、会長（2025年7月～現在）				
情報ネットワーク法学会 監事（2012年1月～現在）、同学会ネット社会法務研究会 主査（2019年3月～2021年3月）				
日本リスクマネジメント学会 監事・評議員（2008年9月～）、理事（2021年3月～現在）				
ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事（2013年～現在）				
堀部政男情報法研究会 理事（第1期：2010年4月～2018年12月）、監事（第2期：2019年1月～現在）				
日本DPO協会 顧問（2020年1月～現在）				
日本リスク学会 会員				
法とコンピュータ学会 会員				
日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員				
情報法制学会 会員				
(社会貢献活動)				
学校法人関西大学 評議員（2024年9月～現在）				
神戸市 行政データ利活用アドバイザー（2024年6月～現在）				
情報法制研究所 参与（2016年5月～現在）				
株式会社アデランス 社外取締役（2016年5月～現在）				
西日本旅客鉄道株式会社 アドバイザー（2018年3月～現在）、グループリスクマネジメント委員会 社外委員（2023年3月～現在）				

研 究 業 績

西日本高速道路株式会社 コンプライアンス委員会 委員 (2021年4月～現在)

公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員 (2014年11月～現在)

ベネッセ教育総合研究所 研究倫理審査委員会 委員 (2024年7月～2025年5月), 委員長 (2025年6月～現在)

株式会社久米設計 経営監査委員会 委員長 (2024年2月～現在)

株式会社タカラトミー 企業倫理・コンプライアンス アドバイザー (2024年5月～現在)

JR 西日本不動産開発株式会社 ガバナンス委員会 アドバイザー (2025年4月～現在)

(その他業績として記載を希望する事項)

✓2025年3月22日, 堀部政男情報法研究会 第2期 第6回シンポジウムで総合司会, オンライン開催.

✓2025年5月24日, 日本経営倫理学会 クライシスマネジメント研究部会研究会で総合司会・パネルチェア, 於関西大学東京センター (東京).

✓2025年9月12日, 関西大学 社会安全学部主催 第9回東京シンポジウムで総合司会・パネルチェア, 於関西大学東京センター (東京) & オンラインのハイブリッド開催.

✓2025年4月14日, 朝日新聞 Think キャンパス 「地震や事故の災害対策から, リスク管理まで学ぶ『社会安全学部』大手企業から熱い視線」掲載.

✓2025年5月8日, 潜道文子・高野一彦「AGPに関する第三者意見」味の素株式会社『味の素グループ サステナビリティレポート2025』148頁, 寄稿.

✓2025年6月5日, 日本経営倫理学会 理事コラム「『Compliance I』から『Compliance II』へ」寄稿.

✓2025年12月6日, 日本経営倫理学会 インゼミ事務局主催「第15回 CSR 構想インターゼミナール」で, 高野ゼミは奨励発表賞 (3位) 入賞. 於駒澤大学 (東京) & オンラインのハイブリッド開催.

■ 高橋 智幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) A Similarity Law for Sandy Tsunami Deposits	共著	2025年7月18日	AGU	Journal of Geophysical Research: Earth Surface, Volume 130, Issue 7, K. Yamashita, D. Sugawara, K. Goto, T. Ishizawa and T. Takahashi. 査読有, https://doi.org/10.1029/2024JF008244
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本土木学会 日本地球惑星科学連合 American Geophysical Union				
(社会貢献活動) 土木学会 原子力土木委員会 委員 土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長 土木学会 海岸工学委員会 沿岸災害デジタルツイン小委員会 委員 The IUGG Joint Tsunami Commission Member Journal of Disaster Research Editorial Board Member 文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員 原子力規制委員会 原子炉安全専門審査会 臨時委員 原子力規制委員会 核燃料安全専門審査会 臨時委員 徳島県 南海トラフ巨大地震被害想定検討委員会 委員 高槻市 都市計画審議会 委員 特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 理事 財団法人防災研究協会 非常勤研究員 国立研究開発法人海洋研究開発機構 文部科学省「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」アドバイザー 特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪 理事長 日本私立大学連盟 常務理事 公益財団法人大学基準協会 理事 彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会 特別委員 公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 関西文化学術研究都市建設推進協議会 委員 大学支援フォーラム PEAKS 全体会合 構成員 毎日育英会 理事				

研究業績

■ 土田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Group Evacuation Experiment of Visually Impaired Students.	共著	2025年3月	社会安全研究センター	Journal of Societal Safety Sciences, 15, 25-47. (査読有) (Wongsuriyanan, C. & Tsuchida, S.)
市民同士のリスク・コミュニケーションの規定因	共著	2025年3月	梅花女子大学	梅花女子大学心理こども学部紀要, 15, 27-34. (査読無) (塩谷尚正・中川由理・土田昭司)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価の手引きの開発について	共同	2025年9月11日	日本原子力学会	日本原子力学会年2025年秋の大会 (北九州国際会議場) (竹田宜人, 土田昭司, 桑垣玲子, 堀越秀彦, 浦山郁)
コロナ禍におけるリスクの曖昧さへの認識の変化: 経時的調査における自由記述内容の再分析	共同	2025年11月8日	日本リスク学会	第38回日本リスク学会年次大会 (大阪大学) (浦山郁, 土田昭司)
「リスクコミュニケーションの評価の手引き」開発の進捗状況について	共同	2025年11月9日	日本リスク学会	第38回日本リスク学会年次大会 (大阪大学) (土田昭司, 竹田宜人, 桑垣玲子, 堀越秀彦, 藤井中, 静間健人, 浦山郁)
リスクコミュニケーション事例研究 TG の活動から見えてきたもの	共同	2025年11月9日	日本リスク学会	第38回日本リスク学会年次大会 (大阪大学) (竹田宜人, 桑垣玲子, 土田昭司, 堀越秀彦, 藤井中, 静間健人, 浦山郁, 松永陽子)
(招待講演) リスクコミュニケーション実践研修	単独	2025年1月19日	公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター	経済産業省「令和6年度原子力産業基盤強化研修」(若狭湾エネルギー研究センター [福井県敦賀市])
安全・安心のコミュニケーション——社会安全学部で学ぶ——	単独	2025年2月6日	関西大学社会安全学部 関西大学第一高等学校	【社会安全学部】2024年度併設高等学校との連携プログラム (関西大学第一高等学校 [大阪府吹田市])
リスク・危険についての認識にかかる文化差研究: 災害時パニック行動の中国・タイ・日本比較	単独	2025年5月19日	暗黙知研究会	暗黙知研究会定例会 (関西大学 [大阪府高槻市])
リスクコミュニケーション: 非常時のコミュニケーションを中心に	単独	2025年6月18日	関西大学千寿会	令和7年度第1回幹事会 (リーガロイヤルホテル [大阪府大阪市])
緊急事態における安全を心理学から考える	単独	2025年8月4日	関西大学	2025年度教職員対象研修講座 (関西大学 [大阪府吹田市])
災害時のコミュニケーションとリーダーシップ: 共助と公助のために	単独	2025年8月20日	安芸市, 安芸市教育委員会, 高知新聞社, RKC高知放送	安芸市夏季大学講座 (防災講演) (安芸市民会館 [高知県安芸市])
Crisis Communication	単独	2025年11月10日	Chulabhorn Royal Academy	Crisis, Disaster and Emergency Management: Executive Development for Governance and Excellence (CDEM-EDGE) (Miracle Grand Convention Hotel [Bangkok, Thailand])
Concept of Safety and Risk And Human Perception of Environment	単独	2025年11月13日	Chiang Mai University	The academic activities of the Doctor of Philosophy in Architecture (Internation Program) 801803: "Research Paradigms and Methods in Architecture" (Chiang Mai University [Chiang Mai, Thailand])
リスクコミュニケーション: 理解と信頼の構築	単独	2025年11月16日	一般社団法人 日本原子力文化財団	「地層処分事業の理解に向けた自主企画支援事業」(online)

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 東北電力ネットワーク株式会社「受託研究」	代表	2025年度	1,373 (1,373)	EMF コミュニケーションの動向調査研究
環境省「令和7年度 放射線健康管理・健康不安対策事業」	代表	2023年度-2025年度	8,220 (23,126)	効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価手法の開発・検証及び社会実装に向けた提案
以下、フリー記入				
(所属学会)				
国際リスク解析学会 (フェロー) [The Society for Risk Analysis (Fellow)]				
アジアリスク解析学会 [The Asian Regional Organization of the Society for Risk Analysis]				
日本リスク学会 (表彰委員)				
日本原子力学会 (社会・環境部会長, フェロー, 研究専門委員会主査)				
日本保健物理学会 (専門研究会委員)				
日本災害情報学会				
日本行動計量学会				
日本心理学会				
日本社会心理学会				
日本グループ・ダイナミックス学会				
日本応用心理学会				
日本消費者行動研究学会 (「消費者行動研究」運営委員)				
(社会貢献活動)				
国際放射線防護委員会, 「TG114」委員 [International Commission on Radiological Protection (ICRP) Task Group (TG) 114 (Member)]				
(一般社団) 日本原子力学会, 「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会主査				
(一般社団) 日本保健物理学会, 「放射性物質の処分における規制免除に係る人文・社会科学的視点からの考察に関する専門研究会」委員				
(一般社団) 日本リスク学会, 「リスクコミュニケーション事例研究」タスクグループ・メンバー				
(財) 大阪科学技術センター, 「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員長				
(公益財) JR西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員				
(国立研究開発) 情報通信研究機構, 「電波ばく露レベルモニタリングに関するリスクコミュニケーション委員会」委員				
(財) 電気安全環境研究所, 経済産業省パンフレット「電磁界と健康」監修委員				
(財) 電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員				
(財) 電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー				
(その他業績として記載を希望する事項)				
日本原子力学会 2025春の年会 一般セッション「対話・コミュニケーション」オンライン (2025年3月13日) において座長を務めた。				
日本原子力学会 2025秋の大会 企画セッション「高レベル放射性廃棄物処分をめぐる社会との対話」北九州国際会議場 [福岡県北九州市] (2025年9月11日) において座長を務めた。				
Chulabhorn Royal Academy “Crisis, Disaster and Emergency Management: Executive Development for Governance and Excellence (CDEM-EDGE)” (Miracle Grand Convention Hotel [Bangkok, Thailand]) (2025年11月11日) において Risk Communication Workshop の講師を務めた。				
<u>報道・取材協力</u>				
2025.4.15: Economist Impact, “Sight unseen: navigating out-of-sight risks in Asia-Pacific” 電子版				
2025.11.12: 北海道新聞, 「北電, 泊原発再稼働へ住民説明会30回: 道民の懸念, どう向き合う」朝刊 (全道版特集20ページ)				
2025.12.11: 週刊文春, 「火事から身を守る「令和の新常識」」27-28				

研究業績

■ 永田尚三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 政策ディベートの有効性	単	2025年3月	ミネルヴァ書房	公共政策学シリーズ第7巻『政策人材の育成』, 第8章177-198
消防と民間組織間の防災分野におけるデータ連携について	単	2025年5月	近代消防社	近代消防5月号, 96-97
災害としてのパンデミックと感染症行政	単	2025年9月	法律文化社	医療政策学：制度と論点, 第14章 205-217
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演) 地域防災上の消防団の重要性や課題について	単	2025年1月20日	秩父市	秩父市講演会, 秩父市役所
危機管理の新動向とわが国の危機対応	単	2025年2月28日	共和リサーチセンター	共和リサーチセンター研究会, 共和リサーチセンター
市町村の消防防災行政, 消防行政の現状と課題	単	2025年3月12日	伊賀市消防本部	伊賀市消防本部 消防行政講演会, 伊賀市消防本部
わが国の危機対応の現状と課題	単	2025年5月16日	(一財)日本防火・危機管理促進協会	(一財)日本防火・危機管理促進協会 地方自治体の危機管理に関する研究会, 日本消防会館
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2025年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	代表	2024年4月～2028年3月	3,640千円 (17,160千円)	災害時新業務の常態化における行政の危機対応体制の研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会 (監事) 日本オンブズマン学会 (理事, 編集委員長) 日本行政学会				
(社会貢献活動) 八潮市中央一丁目交差点道路陥没救助事案に関する検討委員会 (委員長) 伊賀市消防署所適正配置検討委員会 (委員長) 高知県, 高知県消防広域化基本計画あり方検討会 消防業務部会 (部会長), 通信・システム部会 (部会長) 奈良県広域消防組合消防本部組合企画調整会議 外部委員 鹿児島県, 救急安心センター事業検討委員会委員 石川県の消防力維持・強化に向けた検討会委員 高槻市産業振興審議会委員 高槻市水道事業審議会委員 政策研究フォーラム (理事) WAVE1 (顧問)				
(その他業績として記載を希望する事項) 総務省消防庁消防大学校講師 (消防行政論) 幹部科, 上級幹部科				

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 災害レジリエンス概念の発展と防災・減災 政策への含意	単著	2025年2月	防災科学技術研究所	防災科学技術研究所 研究報告, 89, 1-12.
Toward a Theory of Population Return from Disasters: A Synthesis and Extension of Research Advances	共著	2025年5月	Springer Nature	Economics of Disasters and Climate Change, Volume 9, 209-233. (Adam Rose, Bess Djavadi と共著)
The Evolution of the “Disaster Resilience” Concept and its Implications for Disaster Risk Reduction	単著	2025年10月	Fuji Technology Press	Journal of Disaster Research, Vol.20 No.5. 737-745
Study on Discovery of Social Expectation by Simplified Evaluation Tool of Disaster Risk for Small and Medium Enterprises	共著	2025年10月	Fuji Technology Press	Journal of Disaster Research, Vol.20 No.5. 608-615
(その他、論考・研究資料等)				
マンションにおける災害時給水支援ボラン ティアの運動強度の推計	共著	2025年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, 56, 317-318
災害時に発出される関連通知・事務連絡等 に係る整理	共著	2025年5月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, 56, 143-146
令和6年能登半島地震を対象とした「自治 体の災害対応および応援受援活動の全国調 査」——ヒアリング調査について	共著	2025年11月	日本災害情報学会	第31回日本災害情報学会予稿集
「Cash for Work (CfW) プログラム」の発 展	共著	2025年11月	日本災害情報学会	第31回日本災害情報学会予稿集, 呉開源 と共著
令和6年能登半島地震を対象とした「自治 体の災害対応および応援受援活動の全国調 査」	共著	2025年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, 57, 129-132. 折橋 祐希, 辻岡 綾, 宇田川 真之と共著
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
マンションにおける災害時給水支援ボラン ティアの運動強度の推計	共同	2025年5月	地域安全学会	地域安全学会春季研究発表大会, 5月16 日, JICA 関西
Opening Remark: ‘Measuring Resilience: Strategy Development and Empirical Analysis’	単独	2025年3月8日	防災科学技術研 究所・東北大学国際災 害科学研究所	World Bosai Forum 2025, Session 25 ‘Measuring Resilience: Strategy Development and Empirical Analysis,’ Hagi Conference Hall, Sendai, JAPAN
What is ‘Transformative Resilience?’	単独	2025年9月25日	IDRiM Society	Session SS-23-IP ‘Understanding Transformative Resilience: Insights from the Greek Islands and Remote Communities.’
(招待講演)				
耐震化は何故進まないか	単独	2025年5月25日	公益社団法人日本地 球惑星科学連合	日本地球惑星科学連合2025年大会, オン ライン
マンション防災の取組みについて	単独	2025年9月23日	大阪市マンション管 理支援機構用件	マンション管理フェスタ
南海トラフ巨大地震を乗り越える企業のレ ジリエンスとは	単独	2025年10月15日	日本政策投資銀行	日本政策投資銀行関西支店取引先会, 帝 国ホテル
災害レジリエンスとは何か	単独	2025年10月16日	高エネルギー加速器 研究機構	高エネルギー加速器研究機構 リスク管 理講演会
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科研費基盤A	代表	2025年度 ~2029年度	8,100 (34,300)	変革する力としてのレジリエンスの定量 化に向けた構造解明

研 究 業 績

文部科学省「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」	分担	2025年度 ～2029年度	7,000 (35,000)	②【工学・社会科学・地域連携研究】連鎖複合災害に備える地域防災力強化研究 10 a. 連鎖複合災害リスク評価手法の構築 (サブ2a) 「復興の総合知」を用いた災害復興社会のシミュレーションと最適戦略策定手法の提案 (研究代表者：越山健治) 膨大な災害連鎖現象を発生後に予測し対応策を提示するデータ駆動型災害対応技術の開発 (研究代表者：廣井悠)
科研費基盤A	分担	2023年4月 ～2027年3月	500 (2,400)	
科研費基盤A	分担	2024年4月 ～2028年3月	1,000 (1,900)	
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公共政策学会, 日本経済学会, 日本計画行政学会, 地域安全学会, 日本自然災害学会, 日本リスク研究学会, 日本災害復興学会, 日本災害情報学会, 日本保険学会, Integrated Disaster Risk Managemnt (IDRiM) Society				
(社会貢献活動)				
文部科学省科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 防災科学技術委員会 委員 プロジェクトリーダー (防災分野), 「中小企業イノベーション創出推進事業 (文部科学省分)」 経済産業省「社会インフラである小売業のあり方研究会」 委員 神戸市「地域防災力の向上に関する検討委員会」委員長 茨木市 新型インフルエンザ等対策審議会 会長 横浜市「地震被害想定調査検討委員会」 委員 明石市 国民保護協議会 委員 Journal of Disaster Reaserch (JDR) 編集委員 Editor, IDRiM Journal 日本災害情報学会, 企画委員会副委員長, 学会大会実行委員長 (～12月) 理事 (12月～)				
(その他業績として記載を希望する事項)				
国立研究開発法人防災科学技術研究所 社会防災研究領域災害過程研究部門 部門長 (クロスアポイントメントによる兼任) 関西大学剣道クラブ有鄰会 顧問 Keynote Speaker, Roundtable A: Localizing Recovery Readiness at High Level Policy Dialogue on Resilience Recovery, hosted by UNDRR and Cabinet Office, Japan. 9月19日, 於神戸ポートピアホテル Disaster Resilience: The Conceptual Evolution and Its implication' the 3rd Networking Meeting for Students of DRR (NMSD) in KANSAI, 12月6日, 関西大学高槻ミューズキャンパス				

■ 中村隆宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) ヒューマンエラー対策の注意点と人間の特性を踏まえた対策検討の必要性 疑似的な危険体験教育の意義と諸課題	単著 単著	2025年12月26日 2025年10月25日	(株)技術情報協会 サイエンス&テクノロジー株式会社	生産現場におけるヒューマンエラー対策事例集 第1章 第5節 pp.43-48 XR産業応用 第6章 第5節 pp.433-441
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(招待講演) 見守る安全 ― 交通事故防止に向けて ― チームエラー ヒューマンエラーとは何か？ 事例にみるヒューマンエラー 「ヒューマンエラー」に関する質疑	単独 単独 単独 単独 単独	2025年10月3日 2025年11月28日 2025年4月28日 2025年5月21日 2025年6月20日	高槻市 経営倫理実践研究センター 経済産業省 産業保安・保全グループ 経済産業省 産業保安・保全グループ 経済産業省 産業保安・保全グループ	高槻市セーフティボランティア研修会 高槻市生涯学習センター 関西研究会 関西大学梅田キャンパス 産業保安・安全ゼミ～持続可能な保安・安全に向けて～ 第1回 経済産業省 産業保安・安全ゼミ～持続可能な保安・安全に向けて～ 第2回 経済産業省 産業保安・安全ゼミ～持続可能な保安・安全に向けて～ 第3回 オンライン
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2025年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 厚生労働行政推進調査事業費 地域医療基盤開発推進研究事業 科研費 基盤研究C	分担 分担	2024年4月～2026年3月 2024年4月～2026年3月	150 (1,560)	各地域救急医療体制におけるドクターヘリの適正運用と安全運航に関する研究 多様な労働者が働きやすい職場環境づくりに関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会 正会員 日本応用心理学会 正会員 日本人間工学会 正会員 日本交通心理学会 正会員 産業組織心理学会 正会員 日本ヒューマンインタフェース学会 正会員 土木学会 正会員 電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員 日本航空医療学会 正会員 日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員 安全工学会 学術委員会委員 正会員				
(その他業績として記載を希望する事項) 東京電力パワーグリッド株式会社 リスクアセスメントにおける課題・問題点への改善指導, 他 2025年4月～2026年3月 一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師 2025年6月1日～11月30日 大阪府交通安全協会 安全運転管理者講習 講師 2025年4月～2026年3月 センコーグループホールディングス株式会社 プロドライバーへの安全教育カリキュラム策定に関するコンサルティング 2025年4月～2026年3月 株式会社シーテック 安全管理についての指導・支援 2025年4月～2026年3月 一般社団法人茨城県経営者協会 第13期 ヒューマンエラー防止セミナー 講師 2025年3月12日 水戸プラザホテル 一般社団法人全国登録教習機関協会 高所作業車危険再認識教育講師養成研修 講師 (株)アイチコーポレーション アイチ研修センター上尾教習所 2025年8月21日～22日 中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター 第4回川崎重工業株式会社ライン長研修 講師 2025年9月4日 中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター 第13回安全衛生専門講座 安全心理コース ヒューマンエラー災害防止対策 講師 2025年10月27日～10月29日 大阪市消防局 大阪市中央区火災事故調査に係る有識者会議 委員 2025年10月～2026年3月				

研究業績

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文)				
2024年8月の南海トラフ地震臨時情報の効果——1年前のアンケート調査結果との比較——	共著	2025年3月	関西大学社会安全研究センター	社会安全学研究, vol.15, p.105-118, 大谷竜と共著(査読有).
南海トラフ地震臨時情報への対応はどうあるべきか?	単著	2025年3月	関西大学経済・政治研究所研究センター	関西大学経済・政治研究所セミナー年報2024, pp.97-99(査読無).
不確実性の高い特殊な地震情報の現状と将来展望——南海トラフ地震臨時情報と北海道・三陸沖後発地震注意情報——	単著	2025年5月	海洋出版	月刊地球, vol.47, p.299-311(査読無).
今そこにある危機・南海トラフ地震	単著	2025年7月	株式会社 エネルギーフォーラム	エネルギーフォーラム, No.7, pp.112-113(査読無).
東海地震予知体制からの転換としてみた南海トラフ地震臨時情報の課題	単著	2025年9月	日本災害情報学会	日本災害情報学会誌, vol.23-2, 189-194(査読無).
地質工学の理念からみた南海トラフ地震臨時情報の現状と課題	単著	2025年12月	日本物理探査株式会社	地質工学, Vol.22, 1-9(査読無).
(その他、論考・研究資料等)				
私見・南海トラフ地震臨時情報と付き合い方	単著	2025年8月	日本地震学会	なるふる, No.142, p.2-3.
書評：阪神・淡路大震災30年、南海トラフ巨大震災に備える	単著	2025年11月	日本地震学会	日本地震学会ニュースレター, 78巻NL4号, pp.26-27.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
北海道・三陸沖後発地震注意情報の認識状況と課題	単独	2025年1月28日	千島海溝沿いの巨大地震総合研究グループ	千島海溝沿いの巨大地震総合研究グループ集会, 北海道大学理学部
地震予知仮説から見た社会への情報発信と受けとめ方の変化	単独	2025年5月26日	地球惑星科学連合	日本地球惑星科学連合大会, 幕張メッセ
地震リスクの地域性と感性	単独	2025年7月18日	関西大学東西学術研究所アートと感性・健康東西比較研究班	第4回春季連続研究例会, 関西大学児島惟謙館
震度分布に基づく震源・マグニチュード推定法の精度評価	共同	2025年9月28日	歴史地震研究会	歴史地震研究会豊岡大会, 芸術文化観光専門職大学
熱移送説による地震誘発は成立しない	共同	2025年10月21日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, 福岡国際会議場
2025年カムチャツカ地震による津波警報への住民対応の地域比較	共同	2025年10月21日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, 福岡国際会議場
南海トラフ地震臨時情報の認知度と防災意識向上効果の経年変化	単独	2025年10月22日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, 福岡国際会議場
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費・基盤研究(B)	分担	2023-2026年度	500(1,600)	IdealQuakeを核とした新たな設計用地震動構成法の開発
科学研究費・基盤研究(C)	分担	2025-2027年度	900(1300)	南海トラフ地震臨時情報:「不確実な」地震予測情報をどう発表し、どう報道すべきか
拠点間連携共同研究	分担	2025年度	2,500(2,500)	南海トラフ地震臨時情報の不確実性および防災対応に関する市民と研究者の認識の違いの現状把握
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本地震学会				
歴史地震研究会				
Seismological Society of America				

日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会
(社会貢献活動) 静岡大学防災総合センター客員教授 (2016-) 公益社団法人日本地震学会, 代議員 (2006-)

研究業績

■ 廣川 空美

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Mediating effects of menstruation/ menopause on the association between the COVID-19 pandemic related post- traumatic stress disorder symptoms and loneliness in Japanese female workers: A cross-sectional study	共著	2025年4月	Elsevier	European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology, 307, 71-77. Hirokawa K, Noda T, Tokunaga K. 研究計画, 調査の実施, デ ータの解析, 論文の執筆 査読有
Response to Letter to the Editor concerning "Evaluating the Impact of Menstrual/Menopausal Symptoms on Mental Health Among Female Workers During the Pandemic"	共著	2025年6月	Elsevier	European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology, 310, 113962. Hirokawa K, Noda T, Tokunaga K. 論文の執筆 査読有
Associations between parents' broader autism phenotype (BAP) and children's developmental difficulty scores at 6 and 12 months: A prospective study of the Japan Environment and Children's Study (JECS).	共著	印刷中	Wolters Kluwer	Journal of Developmental & Behavioral Pediatrics Hirokawa K, Baba S, Ikehara S, Cui M, Kitano N, Nakayama H, Ozono K, Iso H. Japan Environment and Children's Study Group. 研究計画, データの解析, 論文の執筆 査読有
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 男性労働者の更年期症状と COVID-19パン デミックによる職場環境の変化との関連	共同	2025年2月	日本疫学会	第35回学術総会 高知市文化プラザかる ぽーと
男性の更年期症状と仕事のストレス：シン ポジウム「ストレス研究の展開」	共同	2025年5月	日本生理心理学会	第43回大会於仁愛大学
Mediating effect of job accomplishment between critical incident stress and work engagement among Japanese firefighters	共同	2025年8月	International Congress of Behavioral Medicine	18th International Congress of Behavioral Medicine, University of Vienna, Austria
A Comparative Study on Food Education Policies and School Lunches in Japan and China: Historical and Social Perspectives	共同	2025年8月	International Congress of Behavioral Medicine	18th International Congress of Behavioral Medicine, University of Vienna, Austria
子ども食堂における学習支援と居場所づく りの活動状況の分析	共同	2025年9月	日本社会医学会	第66回学術大会於キャンパスプラザ京都
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費(基盤(C))	代表者	2024年4月 -2027年3月	4,290	多様な労働者が働きやすい職場環境づく りに関する研究
科学研究費(基盤(C))	分担者	2024年4月 -2027年3月	4,680	学校におけるトラウマインフォームドケ ア概念に基づく支援の展開
関西大学なにわ大阪研究センター公募研究 班	代表者	2024年4月 -2026年3月	1,000	大阪府下における「子ども支援」サービ スの調査とガイド作成
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会会員 日本産業衛生学会会員 日本健康心理学会(2014年4月~2017年6月まで 健康心理学研究編集員) 日本公衆衛生学会会員(モニタリング・レポート産業保健グループ) 日本ストレスマネジメント学会(2020年4月~2023年3月まで理事, 編集委員) 日本疫学会員(2017年6月~2020年2月まで 2023年6月~現在まで 代議員 2017年~2022年まで広報委員) 日本行動医学会(2023年4月から現在まで 評議員) 関西心理学会(2023年4月から現在まで 常任委員)				

■ 細川 茂雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Single deformed bubbles rising through stagnant water of surfactant concentrations beyond CMC	共著	2025年9月	Elsevier	International Journal of Multiphase Flow, Vol.194, 105440, Yusei Iwai, Shigeo Hosokawa, Dominique Legendre, Kosuke Hayashi (査読有)
Film thickness measurement of film flow discharged from a rectangular nozzle with high aspect ratio	共著	2025年11月	Elsevier	International Journal of Multiphase Flow, Vol.195, 105540, Masaya Saito, Ryuma Kojima, Shigeo Hosokawa (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Flow characteristics of film flow discharged from rectangular nozzle	共同	2025年5月		12th International Conference on Multiphase Flow (ICMF2025), Toulouse, France
Relative velocity between micro-bubbles and liquid in a microchannel	共同	2025年8月		11th World Congress on Mechanical, Chemical and Material Engineering (MCM'25), Paris, France
Flow characteristics of film flow discharged from a rectangular nozzle	共同	2025年10月		13th International Symposium on Measurement Techniques for Multiphase Flow (ISMTMF2025), Dalian, China
革新炉の設計最適化に資する詳細二相流解析コード妥当性確認のための技術開発 (3) LDV計測原理を用いた二相流動計測技術の開発計画	共同	2025年3月	日本原子力学会	春の年会
マイクロチャンネル内液流中のマイクロバブルの速度	共同	2025年8月	日本混相流学会	混相流シンポジウム2025, 神戸
機械システムの発達と安全	単独	2025年8月	安全工学会	第35回安全管理の最新動向講習会, 高槻
先進的核熱連成シミュレーションシステムの開発 (15) 燃料集合体内二相流挙動に対する JUPITER 解析結果の妥当性確認	共同	2025年9月	日本原子力学会	秋の大会
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省「原子力システム研究開発事業」	研究分担者	2024~2027年	900,000円 (3,600,000円)	革新炉の設計最適化に資する詳細二相流解析コード妥当性確認のための技術開発
科学研究費補助金 基盤研究 (C)	研究代表	2025~2027年	2,080,000 (4,680,000)	液-液界面における沸騰現象に誘起される界面変形に関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会, フェロー, 代表会員, 関西支部商議員 日本原子力学会 日本混相流学会, 会長, 理事 日本伝熱学会 日本流体力学会 自動車技術会 可視化情報学会				
(社会貢献活動) 22nd International Symposium on Application of Laser and Imaging Techniques to Fluid Mechanics, Advisory Committee Member International Conference on Multiphase Flow (ICMF 2025), Scientific Committee 一般社団法人 原子力安全推進協会 原子力防災訓練検討委員会 A 会議 アドバイザリーボード委員				

研究業績

■ 元吉 忠 寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 岩手釜石市の復興公営住宅入居者の買い物 における困りごとに関する調査	共著	2025年3月	日本行動科学学会	行動科学, 63, 83-91. 静間健人・永松伸 吾・元吉忠寛 (査読有)
東日本大震災における原子力災害後の避難 者・帰還者のメンタルヘルスと支援および メディアの果たした役割	共著	2025年12月	日本トラウマティッ ク・ストレス学会	トラウマティック・ストレス, 23, 179- 190. 藤田浩之・元吉忠寛・狐塚貴博 (査 読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響 (4) 能登半島地震による各警報発令時の NHK アナウンサーによる避難指示効果の比 較	共同	2025年9月6日	日本心理学会	日本心理学会第89回大会, 東北学院大学
避難所に対する意識と社会考慮, 地球温暖 化意識の関連	単独	2025年9月6日	日本心理学会	日本心理学会第89回大会, 東北学院大学
街中でのスマートフォン利用に対する意識 ——大学生を対象として——	単独	2025年9月21日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第66回大会, 東京大学
(招待講演) 被災者の心理的影響とその回復力を高める 支援とは ～新潟県の避難者の現状と課題 ～	単独	2025年3月7日	新潟県精神保健福祉 協会	「心のケア」三県連携事業新潟県広域避 難者支援研修会及び令和6年度ふくしま 支援者サポート事業支援担当者連携会 議, オンライン
災害時もしも電車に閉じ込められたら	単独	2025年6月21日	成城大学学芸学部	成城大学学芸学部創設70周年記念行事 「鉄道利用時のマナーから危機対応ま で」, 成城大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (B)	分担	2022～2025年度	300 (17,160)	情報伝達の多側面に着目した実効性の高 い非常時メッセージの原理解明と開発
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (C)	分担	2024～2026年度	200 (4,680)	多様な労働者が働きやすい職場環境づく りに関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会, 災害研究支援委員会委員 日本教育心理学会 日本グループ・ダイナミックス学会 日本社会心理学会 日本リスク学会 編集委員 日本トラウマティックストレス学会 Society for Risk Analysis American Psychological Association				

■ 山崎 栄一

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) よくわかる防災教育 ― 災害理解から学校・地域防災まで	分担執筆	2025年3月	ミネルヴァ書房	藤岡達也編, 本人担当箇所 第4部 I 2 災害対策基本法関係 (180~181頁), 第4部 I 3 自然災害に関する法律 (182~183頁), 第4部 I 4 災害防止の責任 (訴訟判決から) (184~185頁)
(学術論文) 災害救助法の事務処理 (特別基準の設定) に関する調査研究	共著	2025年4月	関西学院災害復興制度研究所	岡本正・岡田博史・羅貞一, 災害復興研究 Vol.16, 1~17頁 (本人担当箇所 1~6頁, 16~17頁) (査読有り)
(その他, 論考・研究資料等) インタビュー「被災者総合支援法案」作りの中心となった山崎栄一関西大学教授に聞く 未災地への伝言「法学者からの未災地・未災者への伝言」 書評 永井幸寿「戦争と法 ― 命と暮らしは守られるか ―」(岩波新書 2069)	単著 単著 単著	2025年2月 2025年9月 2025年11月	季刊「能登」編集室 日本災害復興学会 早稲田大学校友会	季刊『能登』58号, 31頁 日本災害復興学会 News letter vol.51, 5頁 早稲田学報1274号, 66頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 能登半島地震被災者の声から法制度をつくる～珠洲市の医療福祉・生活再建支援の現場から～ 能登半島地震における復興に向けた課題と新たな復興法システムの構築	コメンテーター コーディネーター	2025年9月7日 2025年10月11日	防災推進国民大会実行委員会 日本災害復興学会	ほうさいこくたい2025 朱鷺メッセ (新潟県) 2025年度 阪神大会 関西学院大学 (新潟県)
(招待講演) 阪神・淡路大震災30年, 国際的な視点からの教訓と挑戦, そして地域コ災害レジリエンスの向上 次世代の災害リスク管理と被災者の生活保障～神戸の教訓, 今, これから～ 行政の災害対策と危機管理 災害救助法の概要について 災害時要援護者支援について考える ― 個別避難計画と個人情報 被災者支援 行政の災害対策と危機管理	コメンテーター ファシリテーター 単独 単独 単独	2025年1月13日 2025年1月17日 2025年1月18日 2025年2月13日 2025年2月26日 2025年2月24日	関西学院大学災害復興制度研究所 神戸大学社会システムイノベーションセンター 防災士研修センター 関西広域連合 高槻市 防災士研修センター	2015年日韓合同シンポジウム 関西学院大学災害復興制度研究所 (兵庫県) 阪神・淡路大震災30周年記念シンポジウム 第2部: 減災と復興の法と課題 ― 日本・アジアの比較軸 神戸大学百年記念館 六甲ホール (兵庫県) 防災士研修講座 シキボウホール (大阪府) 災害救助法実務担当者研修 オンライン 地域連携減災講座 高槻市立城内公民館 (大阪府) 防災士研修講座 大阪府社会福祉会館 (大阪府)
阪神・淡路大震災30年を受けた地区防災計画づくりの在り方 東日本大震災からの復興・防災・災害に関する総合的な対策に関する件 災害関連法体系基礎 災害救助法の特別基準に関する解釈, 共有, 活用の可能性 行政の災害対策と危機管理	コメンテーター 単独 単独 単独	2025年3月1日 2025年5月22日 2025年5月27日 2025年5月30日 2025年6月29日	地区防災計画学会 衆議院 三重県 仁川大学仁川学研究院人文社会研究所支援事業団 防災士研修センター	第11回大会 オンライン 国会参考人招致 東日本大震災復興・防災・災害対策に関する特別委員会 衆議院第13委員室 (東京都) 災害対策専門研修 (自治体職員向け) 三重大学 (三重県) 2025年日韓災害安全セミナー 関西大学社会安全学部 (大阪府) 防災士研修講座 難波御堂筋ホール (大阪府)

研 究 業 績

行政の災害対策と危機管理	単独	2025年7月25日	防災士研修センター	防災士研修講座 穴吹農村環境改善センター（徳島県）
被災者支援と法	単独	2025年8月1日	関西大学	教職員対象研修講座 千里山キャンパス（大阪府）
行政の災害対策と危機管理	単独	2025年8月17日	防災士研修センター	防災士研修講座 綾川町綾南農村環境改善センター（香川県）
被災者支援・災害時要援護者対策	単独	2025年8月24日	兵庫県	令和7年度 但馬地域ひょうご防災リーダー講座 豊岡市民会館（兵庫県）
災害と法	単独	2025年8月27日	大阪府立大学工業高等専門学校	大阪府立大学工業高等専門学校（大阪府）
二地域居住に向けた基礎知識——自治体と住民の関係	単独	2025年9月29日	関西学院災害復興制度研究所	第2回 長期広域避難と二地域居住に関する研究会 関西学院災害復興制度研究所会議室（兵庫県）
災害関連法体系基礎	単独	2025年10月9日	人と防災未来センター	災害対策専門研修（自治体職員向け）人と防災未来センター 東館（兵庫県）
被災者支援・災害時要援護者対策	単独	2025年11月9日	兵庫県	令和7年度 ひょうご防災リーダー講座 兵庫県広域防災センター（兵庫県）
行政の災害対策と危機管理	単独	2025年11月15日	防災士研修センター	防災士研修講座 浅口市健康福祉センター（岡山県）
行政の災害対策と危機管理	単独	2025年12月11日	防災士研修センター	防災士研修講座 難波御堂筋ホール（大阪府）
行政の災害対策と危機管理	単独	2025年12月14日	防災士研修センター	防災士研修講座 難波御堂筋ホール（大阪府）
行政の災害対策と危機管理	単独	2025年12月20日	防災士研修センター	防災士研修講座 木津川市役所（京都府）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	代表	2024~2027年	1100 (16,000)	被災者支援法制の構造転換（ガバメントからガバナンスへ）の試み
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2024~2028年	200 (13,200)	災害時新業務の常態化における行政の危機対応体制の研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公法学会 日本社会保障法学会 日本公共政策学会 日本災害復興学会（副会長） 日本災害情報学会 地域安全学会 日本火災学会 日本グループホーム学会 地区防災計画学会（幹事）				
(社会貢献活動)				
総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員 関西広域連合 関西広域防災計画策定委員会 委員 兵庫県 住宅再建共済制度のあり方検討会 委員 神戸市における災害時の要援護者支援のあり方検討会 委員 徳島県 「個別避難計画」作成促進事業 アドバイザー 熊本県 避難支援体制づくり アドバイザー				
(その他業績として記載を希望する事項)				
大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 客員教授 災害情報学会の査読を担当（2件） 12月14日 BS-TBS「噂の！東京マガジン」で「牧之原市 進まない竜巻被害の復旧」というコーナーでコメント				

■ 吉 田 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 地域公共交通の利用促進に関する一考察 —JR 播但線を事例に— バス運転手不足の解消に向けた研究	共著 単著	2025年3月 2025年6月	関西大学社会安全学 部 公益事業学会	社会安全学研究, 第15巻, P137-145 公益事業学会2025年度(第75回)大会研 究報告予稿集 P63-68
鉄道線路メンテナンス入門	共著	2025年8月	理工図書	P95-130
鉄道利用者の視点に立った計画運休時の情 報発信のあり方について	共著	2025年9月	大阪公共交通研究所	都市と公共交通, 第49巻, P25-34
日本鉄道の歴史と発展(韓国語)	共著	2025年10月	BG ブックギャラリー	P202-267
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) バス運転手不足の解消に向けた研究	単独	2025年6月15日	公益事業学会	公益事業学会2025年度(第75回)大会 桃山学院大学
列車内閉じ込めに遭遇した乗客の精神的負 担とその軽減策について	単独	2025年7月19日	失敗学会	第22回失敗学会大阪夏の大会 南久宝寺ビル(大阪市中央区)
(招待講演) 列車内閉じ込めに遭遇した乗客の精神的負 担とその軽減策について	単独	2025年5月16日	中央電気倶楽部	中央電気倶楽部 午さん会 中央電気倶楽部(大阪市北区)
安全・安心な社会を構築する企業となるた めに	単独	2025年9月12日	関西大学社会安全学 部	第9回東京シンポジウム 関西大学東京センター
列車内閉じ込め時における乗客の精神的負 担とその軽減策について —大阪北部地震と京都地区雪害を例に—	単独	2025年11月4日	JR 東日本新潟統括 センター	JR 東日本・新潟統括センターとの意見交 換会 関西大学梅田キャンパス
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会 公益事業学会 鉄道史学会 産業・組織心理学会 日本セーフティプロモーション学会 失敗学会				
(社会貢献活動) 事業用自動車事故調査委員会 委員長 独立行政法人自動車事故対策機構指導講習業務検討委員会 座長 トラック輸送における取引環境・労働時間改善大阪府地方協議会 座長 自動車運送事業安全対策検討会 委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 報道・取材協力 (テレビ)「何が USJ 周辺で横行 違法駐車の実態」関西テレビ「news ランナー」, 2025年11月3日 (記事)「人手不足が決定打に」『トラック運送「明日は我が身」?』「キャリア形成に視点を」物流ニッポン新聞, 2025年1月10日 (記事)「25人の命向き合う これからも」『日福大バス事故40年追悼』中日新聞, 2025年1月29日 (記事)「事故の恐怖感じる 鉄路の除雪作業員、実態語る JR 北海道で相次ぐ保線や除雪の不手際」北海道新聞, 2025年3月5日 (記事)「地鉄作業員死亡事故 原因は見張り員の未配置 安全委報告書、安全軽視厳しく指弾」読売新聞, 2025年3月28日 (記事)「運転者守る大前提に 業界の構造改革不可欠(ロジ近畿版対談でモデレーター)」物流ニッポン新聞, 2025年4月8日 (記事)「大阪・関西万博を問う ¹³ 開幕で増える大阪メトロの負担 最高速度上げ増発」週刊エコノミスト, 2025年4月29日/5月6日, P86-87 (記事)「安全のために一尼崎 JR 脱線20年—」京都新聞, 福井新聞, 四国新聞, 高知新聞, 2025年4月19日~24日 (記事)「JR 福知山線脱線事故20年、未曾有の事故はどのようにして起きたのか」読売新聞, 2025年4月25日 (記事)「大阪・関西万博を問う ¹⁴ 来場者の4分の3が利用の日も 大阪メトロに想定以上の輸送負担」週刊エコノミスト, 2025年6月 10日/6月17日, P42-43				

研 究 業 績

- (記事)「地鉄不二越・上滝線、扉開き700m走行 運転士も車掌も見逃す」読売新聞, 2025年6月20日
- (記事)「貸切バスを見習うべき? 録音・録画を義務化」物流ニッポン新聞, 2025年7月18日
- (記事)「全鉄道関係者が見るべき1枚 脱線事故スクープ写真の意義, 吉田裕・関西大教授が語る」北海道新聞, 2025年9月4日
- (記事)「倒木で運休 遅れ増 (JR岡山支社管内在来線)」山陽新聞, 2025年9月12日
- (記事)「大阪・関西万博を問う⑩ 安全な来場者輸送の限界を露呈した大阪メトロの停電事故は会期終盤への“警告”だ」週刊エコノミスト, 2025年9月16日, P68-70
- (記事)「フロントラインいわて2025 トラブル相次ぐ新幹線 揺らく大動脈の信頼」岩手日報, 2025年9月21日
- (記事)「専門家 先頭の機関車通過時にレール破断 JR函館線の貨物脱線事故」北海道新聞, 2025年10月31日
- (記事)「交通安全協会 存続に黄信号 福岡の加入率16%台 地域見守り 先細りも」西日本新聞, 2025年12月30日
- (ラジオ)「あんぜん・あんしん・アンサンプル」ラジオ大阪, 2025年8月4日放送
- (ラジオ)「谷五郎の昼はGOROGORO」ラジオ関西, 2025年10月1日放送

座談会における協力 (ファシリテーター)

- (セミナー) バスドライバー合同就職説明会「いらっしやいフェスⅢ 2025」兵庫県バス協会, 2025年11月3日, 神戸国際会館

■ 岡 本 満喜子

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 食品事故及び苦情のm-SHELモデルを用いた 背後要因分析 — 食品分類別の特徴抽出 の試み —	共著	2025年4月	日本セーフティプロ モーション学会	川瀬健太郎, 岡本満喜子, 日本セーフテ ィプロモーション学会誌, 第18巻1号, 2-18頁 (査読あり)
(その他, 論考・研究資料等) Safety-IIアプローチによる園バス安全対策 の実践事例収集と展開効果	共著	2025年9月	人間生活工学研究セ ンター	鳥崎敢, 岡本満喜子, 石垣陽, 館秀典, 人間生活工学, Vol.26 No.2, 17-22頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 鉄道車内非常ボタン使用の判断に影響する 認知と責任意識	共同	2025年8月2日	日本交通心理学会	日本交通心理学会創立50周年・第90回記 念千葉大会, 京成ホテルミラマール
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費補助金 基盤研究 (A)	研究分担者	2025~2028年度	1,300 (10,010)	シェアード・スペースにおける歩行者・ 車両運転車双方から見た空間デザインの 最適解
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本交通心理学会 (規定委員会委員) 日本応用心理学会 日本プラントヒューマンファクター学会 日本交通科学学会 日本セーフティプロモーション学会 日本機械学会 (法工学専門会議運営委員), 業務上過失事件裁判例研究会 日本消費者法学会				
(社会貢献活動) SMI 都心ライン自動運転技術等検討分科会委員 2023年6月~現在 近畿陸運協会評議員 2024年5月~現在 運輸安全委員会 海事部会委員 2017年10月~2025年3月 運輸安全委員会 海事専門部会委員 2017年10月~2025年3月 宇宙政策委員会臨時委員 2025年6月~現在				
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪府交通安全協会 安全運転管理者講習 講師 2025年4月~現在 近畿交通共済協同組合 事業主・運行管理者事故防止セミナー 講師 2025年4月~2026年3月				

研究業績

■ 河野和宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 文章生成 AI を用いた詐欺への騙されやす さに関する一検討	共著	2025年 9 月	関西大学インフォメ ーションテクノロジー センター	関西大学インフォメーションテクノロ ジーセンター年報2024, No. 15, P17-27 (外村秀仁, 河野和宏) (査読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 関西大学初・中・高等部版 AI リテラシー の試行的な開発	共同	2025年 3 月 8 日	日本教育工学会	日本教育工学会2025年春季全国大会, 2-S04C2, P279-280, 成城大学(堀力斗, 松本京子, 東口貴彰, 長戸基, 釈慶樹, 玉田哲也, 林誠弘, 松村湖生, 河野和宏, 岩崎千晶) (査読なし)
以下、フリー記入				
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 地域安全学会 (ISSS) 日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM)				
(社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM 研), 専門委員 (2020年 4 月 1 日～) 吹田市個人情報保護審議会委員 (2019年10月～) 関西大学中等部, ICT 研修「AI リテラシー・メディアリテラシー」(2025年 7 月19日) 高槻市主催, 2025年度夏休み子ども大学「ひみつの指紋ラボ: 自分だけの模様をさぐろう!」(2025年 8 月 2 日)				
(その他業績として記載を希望する事項) 情報処理安全確保支援士 (登録番号: 015391)				

■ 城下英行

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Agent-based modelling for flood evacuation as inclusive disaster risk reduction: Pilot participatory action research with 11- and 12-year-old children from a Japanese school	共著	2025年2月	Elsevier	Maciej Pawlik, Tomoyuki Takabatake, Hideyuki Shiroshita, Ravindra Jayaratne, Hebba Haddad, Kaori Kitagawa, Nanami Hasegawa, International Journal of Disaster Risk Reduction, Vol.117, https://doi.org/10.1016/j.ijdr.2025.105180 (査読有り)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 台湾における防災休業制度とその実態	単独	2025年9月19日	日本自然災害学会	第44回日本自然災害学会学術講演会、北海道教育大学札幌校
Case Station for Avoidable Snakebite Deaths (CaSA)	共同	2025年9月29日	IDRiM Society	The 15th International Conference of IDRiM Society, Samos Island, Greece
Beyond Traditional Disaster Education: A Three-Tiered Framework for Disaster Education	単独	2025年9月29日	IDRiM Society	The 15th International Conference of IDRiM Society, Samos Island, Greece
台湾防災教育輔導団による防災教育推進活動	単独	2025年12月7日	科学技術社会論学会	第24回科学技術社会論学会年次研究大会、常盤大学
(招待講演) 防災学習センターにおける学習方法：日本&台湾と英国の違い	単独	2025年3月20日	雲林県防災教育輔導団	台湾雲林県防災教育輔導団オンライン交流会、オンライン
Disaster Education in Japan for Tackling Black Swans	単独	2025年3月21日	Avoidable Deaths Network	UNOCHA-HNPW online session (Debate on the Scope of Social Media during Crisis Communication), オンライン
「遊ぶ」防災教育	単独	2025年4月24日	BPW 大阪	BPW 大阪例会、帝国ホテル大阪
地震・水害に備えましょう	単独	2025年6月6日	ティビーおやこの広場	防災講習会、ティビーおやこの広場
地震・水害に備える	単独	2025年7月6日	樟葉南校区防災委員会	キックオフミーティング、枚方市立楠葉南小学区
実践的な避難訓練について	単独	2025年8月6日	京都府教育委員会	令和7年度学校安全教室指導者講習会、ガレリア亀岡
学校防災と防災教育	単独	2025年10月6日	JICA 関西	JICA 中南米研修、兵庫県災害医療センター
災害に備えるために必要なこと：阪神・淡路大震災から30年を迎えて	単独	2025年10月27日	兵庫県立神戸商業高等学校	防災講演会、兵庫県立神戸商業高等学校
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	2025年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C)	代表	2023年度～2025年度	1,200千円(3,300千円)	「パフォーマンス」による総合的な参加型防災教育モデルの構築
Grants for Rapid Response Research	研究協力者	2024年4月～2025年3月	0円	Immediate Responses during a Major Nighttime Tsunami Event
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本自然災害学会(企画委員:2018年～, 学術講演会部会:2020年～, 評議員:2023年～) 日本安全教育学会 日本災害情報学会(学会誌編集委員会委員:2022年～) 地域安全学会 科学技術社会論学会(理事:2019年～) Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society 地区防災計画学会				

研究業績

(社会貢献活動)

大阪府 安全教育推進委員会 委員長

泉大津市 防災会議 委員

印南町 防災会議 委員

大阪府立吹田東高等学校 学校協議会 委員

高槻市 学校教育審議会 委員

高槻市 第八中学校区学校運営協議会 委員

富山県四季防災館リニューアルに係る監修

高槻市危機管理センターの平時活用アドバイザー

泉大津市立防災倉庫愛称選定委員会委員

泉大津市立火葬場指定管理者選定委員会委員

大阪市東成区役所 令和7年度区内中学校の災害時避難所運営にかかる支援事業業務委託公募型プロポーザル 選定委員

大阪市東淀川区役所 令和7年度新大阪駅及び駅周辺企業等の帰宅困難者対策事業業務委託公募型プロポーザル 選定委員

大阪市都島区役所 「(仮称)都島区地震本」企画編集業務委託公募型プロポーザル 選定委員

(その他業績として記載を希望する事項)

President, Avoidable Deaths Network

大阪教育大学 学校安全推進センター 共同研究員

特定非営利活動法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム 理事

京都大学防災研究所 客員准教授

和歌山県印南町印南地区津波防災ワークショップ講師 (2025年2月13日, 印南町役場・2025年10月9日, 印南町防災福祉センター)

和歌山県印南町中学生防災ワークショップ講師 (2025年10月21日, 印南町防災福祉センター)

ソーシャル・コミュニケーションリーダー (SCL) 養成講座「まなびのための防災教育のデザイン」(2025年10月4日, 関西大学梅田キャンパス)

関大の知にふれる「生活の中の防災」(2025年5月27日, 大阪府立高槻北高等学校)

大阪市東淀川区BCP学びの場講師 (2025年10月3日, 東淀川区役所淡路出張所・2025年12月12日, 東淀川区役所)

国際基督教大学教養学部「『災後』の人間・社会・文化」ゲスト講師 (2025年10月20日, 国際基督教大学)

いわて高等教育コンソーシアム2025年度後期集中講義「危機管理と復興」の「防災教育を考える」(2025年11月29日, 岩手大学)

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 災害ケースマネジメント等の検討	共著	2025年5月	厚生労働省 (厚生労働行政推進 調査事業費)	「災害発生時の分野横断的かつ長期的な マネジメント体制構築に資する研究」(代 表：浜松医科大学・尾島俊之教授)令和 6年度 総括・分担研究報告書、本文を菅 が執筆、資料編を菅・中村・坪井・山本 が共同執筆(査読無し)。
被災世帯のアセスメントによる生活再建支 援手法の考察 — 令和6年能登半島地震を事例として	共著	2025年10月	日本災害復興学会	日本災害復興学会2025年度神戸大会梗概 集(オンライン版、pp.100-101)、中村満 寿央・田村太郎・菅磨志保・尾島俊之(査 読無し)。
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 被災者の生活再建を支援する調査の実践と 課題— 令和6年能登半島地震における輪 島市の事例(1)	共同	2025年3月23日	社会学系4学会連合	第11回震災問題研究交流会(社会学系4 学会連合) 中村満寿央・菅磨志保・田村太郎(於： 早稲田大学)
域外避難から見た集落自治の可能性と課題 — 令和6年能登半島地震における輪島市 の事例(2)	共同	2025年3月23日	社会学系4学会連合	第11回震災問題研究交流会(社会学系4 学会連合) 三嶋昂将・入江早亮・小原直将・野村俊 介・松原久・菅磨志保(於：早稲田大学)
震災30年：市民セクターによる災害支援の 可能性と課題(パネリストとしての発表題 目)	単独	2025年6月14日	日本NPO学会	日本NPO学会第27回・公開シンポジウ ム「災害NPO・コミュニティ・行政の未 来— 阪神・淡路大震災から30年『見逃 されてきた視点』を問う」(於：関西学院 大学)
(招待講演) 阪神・淡路大震災 30年目を迎えてボラン ティアによる災害支援を考える (パネリストとしての発表題目)	単独	2025年1月17日	内閣府	令和6年度防災とボランティアのつどい 「阪神・淡路大震災から30年、災害ボラ ンティア活動の今と未来を語る」(於：こ うべ市民福祉交流センター)
阪神・淡路大震災から30年 — 災害ボランティアの変遷とこれから	共同	2025年1月17日	公益社団法人・ピー スポート災害支援セ ンター(PBV)	公益社団法人・ピースポート災害支援セ ンター(PBV) 阪神・淡路大震災30年・ 対談企画、菅磨志保・山本隆史・小林深 吾(Youtube)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 厚生労働行政推進調査事業費	研究 分担者	2025年度 ~2026年度	300 (13,770:R7年度分)	重層的な保健医療福祉マネジメントに関 する研究(代表：浜松医科大学・尾島俊 之教授)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会、日本都市学会・関東都市学会、地域社会学会、日本NPO学会、日本災害復興学会、日本災害情報学会、地域安全学会				
(社会貢献活動) Yahoo! 基金 評議委員(2025年6月~) 中央共同募金会「赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)』運営委員会」委員・副委員長(2025年5月~現在に至る) 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム(JPF)「JPF国内事業審査分科会」委員(2021年12月~現在に至る) 大阪府「大阪府河川整備審議会」委員(2021年10月~現在に至る) 中央共同募金会「赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)』審査委員会」委員・座長(2021年9月~現在に至る) 奈良県「奈良県地域防災計画検討委員会」委員(2021年4月~現在に至る) 特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所 理事(2015年12月~現在に至る) 高槻市地域防災会議 委員(2012年3月~現在に至る) 震災がつなぐ全国ネットワーク 幹事(2004年~現在に至る)				

研究業績

■ 菅原 慎悦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Challenging epistemic hierarchy: Reincorporating societal risks into nuclear safety goals 高レベル廃棄物の処分に関する人文・社会科学的視点からの考察	単著 共著	2025年4月 2025年6月	Elsevier 日本保健物理学会	Energy Research & Social Science Volume 122, April 2025, 103984. (査読有) 保田浩志, 麓弘道, 齋藤龍郎, 土田昭司, 菅原慎悦, 杉山大輔, 山口文恵, 金千皓, 笠井篤, 清岡英男, 保健物理60(2): 105-123. (査読有)
Transgenerational Projects and Entangled Domination: Revisiting Autonomy in Radioactive Waste Management	単著	2025年8月	Springer	Science and Engineering Ethics, Volume 31, article number 24. (査読有)
(その他、論考・研究資料等) 国づくりの熱意 座談会：エネルギーから考えるスマートシティ ピラミッドを再び上る 本質的に副産物 確信と懐疑のあいだ：“Safe enough”再考 国際会議 GLOBAL2024の概要報告 理想に毛が生えるとき	単著 共著 単著 単著 単著 共著 単著	2025年1月 2025年1月 2025年4月 2025年7月 2025年9月 2025年10月 2025年10月	日本原子力学会 計画・交通研究会 日本原子力学会 日本原子力学会 日本原子力学会 日本原子力学会 日本原子力学会	日本原子力学会誌67(1): 60. 越塚登・川上佐知・菅原慎悦・浦田淳司, 内海克哉(企画・文責), 計画・交通研究会会報2025年1月号, 6-11. 日本原子力学会誌67(4): 250. 日本原子力学会誌67(7): 428. 日本原子力学会誌67(9): 498-499. 村上毅・西原健司・牟田浩明・小原徹・松村哲夫・鈴木達也・稲垣八穂広・佐藤淳也・吉田美美子・秋山大輔・菅原慎悦・川合康太・相楽洋・三倉通孝, 日本原子力学会誌67(10): 601-605. 日本原子力学会誌67(10): 615.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Contested images of residents and evacuation between disaster risk reduction and nuclear emergency management 複数世代プロジェクトとしての高レベル放射性廃棄物処分：新共和主義的視点からの再検討 変化を促す触媒としての安全目標 「政治主導」時代の原子力政策と「制度化された非知」：高レベル放射性廃棄物政策の事例 事後的意味付けとしての事故調査：福島第一IC作動音証言をめぐる一考察	単独 単独 単独 共同 共同	2025年6月18日 2025年9月28日 2025年11月9日 2025年12月7日 2025年12月7日	SRA Europe 科学社会学会 日本リスク学会 科学技術社会論学会 科学技術社会論学会	ESREL SRA-E 2025 Conference, Stavanger, Norway. 科学社会学会第14回年次大会, 大正大学. 日本リスク学会第38回年次大会, 大阪大学. 寿楽浩太・菅原慎悦, 科学技術社会論学会第24回年次研究大会, 常磐大学. 菅原慎悦・寿楽浩太, 科学技術社会論学会第24回年次研究大会, 常磐大学.
(招聘講演) Institutionalized Ignorance in the Making of Fukushima Nuclear Disaster How safe is safe enough? Exploring the roles of SSH from “within”	共同 単独 単独	2025年2月7日 2025年2月11日 2025年2月11日	Center for Asian Studies, University of Colorado Boulder Erasmus School of Health Policy & Management Erasmus School of Health Policy & Management	Amir S, Sugawara S, Juraku K, Workshop “Living in Nuclear Asia: Sociotechnical perspectives on nuclear power development, risk, and vulnerability”, Boulder, University of Colorado. Erasmus School of Health Policy & Management (Invited talk) Erasmus School of Health Policy & Management (Invited talk)

Exploring Transdisciplinarity from within	単独	2025年2月28日	ULB-Kansai University Workshop	ULB-Kansai University Workshop, Université Libre de Bruxelles. (Invited talk)
社会的事象の因果帰属とリスク管理 (討論者)	共同	2025年4月2日	TONERICO 研究会	小杉素子, 寿楽浩太, 菅原慎悦 (討論者), TONERICO 研究会+静岡大学 MOT 勉強会, オンライン.
未来世代の制度化をめぐる近年の議論とその課題— 当事者としての回顧と今後あるべき姿の検討—	共同	2025年7月10日	キャノングローバル戦略研究所	小林誠道・菅原慎悦, フューチャー・デザインワークショップ, オンライン.
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科研費 (基盤C)	分担	2024-2026年度	851 (4,680)	科学社会学のポスト「第3の波」論の検討: 高レベル放射性廃棄物処分問題を題材に
科研費 (基盤C)	代表	2022-2025年度	1,330 (4,030)	専門家間で意見が分かれるリスク問題の専門知集約過程に係る科学技術社会的分析
以下, フリー記入				
(所属学会)				
日本リスク学会, 日本原子力学会, 日本保健物理学会 科学社会学会, 科学技術社会論学会, 日本自然災害学会 日仏工業技術会 Society for Risk Analysis, Society for Social Studies of Science				
(社会貢献活動)				
関西電力株式会社原子力安全検証委員会委員 一般社団法人複合リスク学際研究・協働ネットワーク理事 GLOBAL2024プログラム委員 日本原子力研究開発機構高速炉研究開発DX化検討委員会委員 関西原子力懇談会安全評価技術・基準体系に関する調査・検討委員会委員 東京大学大学院工学系研究科原子力専攻「福島学演習」講師				

研究業績

■ 中間 千香子

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演) 高石市, (株)ボラリス, 大阪経済大学・関西医科大学との研究について	共同	2025年3月24日	高石市	介護事業所向けセミナー (高石市)
認知症を知り, 予防とケアを考えよう	単独	2025年6月14日	関西大学社会安全学部	第40回 関西大学 高槻ミュージーズキャンパス公開講座 (高槻市)
睡眠と健康～質の良い睡眠で心も体も健康に～	単独	2025年6月22日	さかいセカンドステージ応援団運営協議会	いきいき堺市民大学 第13期公開講座 (堺市)
「健康と睡眠」について	単独	2025年12月3日	NPO 法人大阪府民カレッジ	大阪府民カレッジ短期講座 (堺市)
泉北ニュータウン地域におけるスマートウォッチ研究結果報告	単独	2025年9月13日 2025年9月21日 2025年9月27日 2025年11月16日	ひと・まち・未来研究会	泉北ニュータウンにおけるQOL向上のための健康指標とまちづくりモデルの構築の研究中間報告会・意見交換会 (堺市)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会 科学研究費助成事業・基盤研究 (C)	代表	2024～2028年度	300 (3,500)	特定保健指導でのウェアラブルデバイスによる運動量モニタリングと指導プログラム開発
近畿大学学内助成金 21世紀研究開発奨励金	分担	2024～2027年度	550 (2,490)	泉北ニュータウンにおけるQOL向上のための健康指標とまちづくりモデルの構築
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本公衆衛生学会 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本老年医学会 ひと・まち・未来研究会				
(社会貢献活動) 高石市との共同研究「自立支援特化型デイサービス事業における社会保障費抑制等の効果検証」 2024年9月～				

■ 福井 敬 祐

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Patterns of birth cohort-specific smoking histories in Japan, 1910-2050: a shift towards younger people?	共著	2025年7月	BMJ Publishing Group	Phuong The Nguyen, Shiori Tanaka, Keisuke Fukui, Yuri Ito, Kota Katanoda, Tobacco Control. 2025; 0:1-8. doi:10.1136/tc-2024-059262 (査読有)
Identification of novel clinical subtypes in patients with microscopic polyangiitis using cluster analysis: multicenter REVEAL cohort study	共著	2025年1月	Frontiers Media S.A.	Ayana Okazaki, Shogo Matsuda, Takuya Kotani, Keisuke Fukui, Takaho Gon, Ryu Watanabe, Atsushi Manabe, Mikihiro Shoji, Keiichiro Kadoba, Ryosuke Hiwa, Wataru Yamamoto, Motomu Hashimoto, Tohru Takeuchi. Frontiers in Immunology, 2025; 15, 1450153. (査読有)
(その他、論考・研究資料等) マイクロシミュレーションモデルを用いた大腸がん年齢調整死亡率の将来推計	単著	2025年5月	厚生労働省	福井敬祐, 厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業) 分担研究報告書 (査読無)
最終アウトカム(生存率)の格差計測に必要な都道府県別生命表の整備	共著	2024年5月	厚生労働省	福井敬祐, 片岡葵, 伊藤ゆり, 厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業) 分担研究報告書 (査読無)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Lifetables by area-based socio economic position to estimate inequalities in net survival of cancer in Japan	共同	2025年1月7日	American Statistical Association	2025 International Conference on Health Policy Statistics (Sandiego, California)
がん患者の純生存率算出のための都道府県別生命表の開発	共同	2025年2月13日	日本疫学会	第35回日本疫学会学術総会(高知県高知市)
Development of Prefecture-specific Life Tables for Estimating Net Survival Rates	共同	2025年11月12日	European Public Health	18th European Public Health Conference 2025 (Helsinki, Finland)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2025~2028年	800 (4,550)	肺がん対策に資するマイクロシミュレーションモデルの精密化とその応用
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2025~2027年	400 (1,200)	コホート内症例対照研究とMicrosimulation Modelを用いた肺がんCT個別化検診の確立
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2024~2027年	180 (720)	空間疫学モデルを利用した多様な出生コホート効果の検出法の開発
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2024~2026年	100 (400)	子宮体がんの各種登録データベースの評価とそれを活用した臨床・疫学的分析
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2023~2027年	30 (200)	社会経済格差をふまえた保険者別向老期における孤立予防の地域デビュー促進の実装研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2022~2025年	200 (800)	大腸がんリスク評価のためのマイクロシミュレーションの精緻化と改良
日本医療研究開発機構研究費・革新的がん医療実用化研究事業	分担	2025~2027年	2,000 (6,000)	個人・社会・環境要因を包含した大腸がんリスクモデル構築
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023~2025年	500 (1,050)	がん対策の年齢調整死亡率・罹患率に与える影響と要因に関する研究
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023~2025年	700 (2,100)	がん検診受診率の妥当性評価のための研究
厚生労働省科学研究費補助金・がん政策研究事業	分担	2023~2025年	300 (900)	がん対策における格差の要因の解明及び評価手法の確立に資する研究

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 日本統計学会 日本疫学会 日本公衆衛生学会 日本癌学会
(社会貢献活動) 2025年度統計関連学会 実行委員 日本疫学会 広報委員会 メディア連携WG委員 日本統計学会 和文誌編集委員会委員 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 客員准教授 東広島市データ分析アドバイザー 大阪府ヘルスアップ支援会議有識者 委員 広島県公民健康保険団体連合会 保険事業支援・評価委員会 委員

■ 大野 哲之

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Estimating Maximum Precipitation for an Extreme Rainfall Event in Japan Using Lower-Level Shifts of Atmospheric Initial and Boundary Conditions	共著	2025年12月	American Meteorological Society	Akiyuki Ono, Kosei Yamaguchi. Journal of Hydrometeorology, vol. 26, no. 12, 1919-1937. (査読有)
(その他、論考・研究資料等) 水文・水資源学会若手会：コミュニティの 多様化とさらなる拡大に向けた2023-2024年 期活動報告	共著	2025年 8月	水文・水資源学会	水文・水資源学会誌 第38巻 第3号, p.201-206, 池本 敦哉, 宮本 真希, 大屋 祐太, 伊藤 毅彦, 星野 裕輝, 大野 哲之, 和田 光将, 沼澤 蓮音, 古岡 應次郎, 近 藤 誠, 若尾 和哉, 岩井 直太, 西村 将真
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 数値気象モデルを用いた降水量最大化手法 における線状対流系の物理特性	共同	2025年 2月20日	京都大学防災研究所	令和6年度京都大学防災研究所研究発表 講演会、京都大学宇治キャンパス (京都 府宇治市)
Sensitivity Experiments of Atmospheric Initial and Boundary Conditions Shifts for Extreme Rainfall Event Associated with Low-level jet in Kinki District, Japan	共同	2025年 5月27日	日本地球惑星科学連 合	Japan Geoscience Union Meeting 2025. 幕張メッセ (千葉県千葉市)
楽しく学んで備えよう！ゲリラ豪雨の科学	単独	2025年 8月23日	関西大学	関西大学サマーキャンパス in 高槻ミュー ーズキャンパス、(大阪府高槻市)
PMP推定に向けた2012年京都亀岡豪雨に おける下層大気場の空間移動手法の感度実 験	共同	2025年 9月11日	土木学会	令和7年度土木学会全国大会 第80回年 次学術講演会、熊本城ホール (熊本県熊 本市)
PMP推定に向けた再解析データの適用可能 性と課題：近畿地方の歴史的豪雨事例に基 づく検討	共同	2025年 9月18日	水文・水資源学会	水文・水資源学会 2025年度研究発表会。 あきた芸術劇場ミルハス、(秋田県秋田 市)
気象現象別にみた風水害死者数の経年変化 とその要因分析	共同	2025年 9月18日	日本自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会、北海道 教育大学 (北海道札幌市)
孤立局所型線状対流系のPMP推定に向け た降水量変化の感度実験	共同	2025年11月 6日	日本気象学会	日本気象学会2025年秋季大会、福岡国際 会議場 (福岡県福岡市)
2025年 8月の九州地方での線状降水帯に関 する解析	単独	2025年12月 2日	京都大学防災研究所	水文気象学研究会、京都大学宇治キャン パス (京都府宇治市)
2050年の気候変動の影響を考慮した線状対 流系の制御に関する検討	共同	2025年12月 5日	国立研究開発法人科 学技術振興機構 (JST)	2025年度ムーンショットプロジェクト目 標8プログラム全体会議、ベルサール神 保町 (東京都千代田区)
線状対流系豪雨の組織化に先行する大気場 のマルチフラクタル的変動	共同	2025年12月12日	土木学会・水工学委 員会	第70回水工学講演会、郡山市公民館 (福 島県郡山市)
Ensemble-based Analysis of Line-shaped Convective Systems in Japan Toward the Design of Atmospheric Modification using Offshore Curtain	共同	2025年12月16日	American Geophysical Union	AGU25 Annual Meeting. (New Orleans, LA, USA)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	2025年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会 科学研究費助成事業 研 究活動スタート支援	代表	2024年 7月 -2026年 3月	886	高解像度アンサンブル実験による可能最 大な局地的集中豪雨シナリオの定量的推 定
以下、フリー記入				
(所属学会) 土木学会 水文・水資源学会 日本地球惑星科学連合				

研 究 業 績

日本気象学会

アジア海洋・地球科学会

アメリカ地球物理学連合

(その他業績として記載を希望する事項)

令和7年度土木学会全国大会第80回年次学術講演会 優秀ポスター発表賞

■ NAFESA BINTI ISMAIL

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) Empowering future climate leaders: Temperate East Asia PDTW 2025 on sustainable resource management and plastic pollution in Jeju Island, Republic of Korea	共著	2025年6月	アジア太平洋地球変 動研究ネットワーク	共著者：Nafesa Ismail, Naomi Young/ オンライン記事のため頁数なし／査読無
FY2025 第2・第3回FDセミナー「国際 共修に関する実施概要」内 発表「多文化共 修授業の実践経験」	発表 (分担)	2025年10月	関西大学 社会安全 学部	登壇者：太田浩教授, 末松和子教授, 市 井教授, 越山教授, 奥村教授, 土田教授, 長松教授, 亀井教授 ほか／担当部分： 13:00-13:10「多文化共修授業の実践経 験」／査読無
「What's Derolin」(英語版 災害防災絵本) マレー語 (Bahasa Malaysia) 翻訳	共著 (翻訳協力)	2025年12月	関西大学 社会安全 学部	原著者：市井浩二 担当内容：英語版防災教育絵本「What's Derolin」の Bahasa Malaysia 翻訳 備考：本書は港湾協会より防災教育功勞 により表彰を受けた教材。既にスペイン 語, ポルトガル語, 中国語, ヘルシヤ語, イタリア語等に翻訳されており, 本翻訳 はマレー語版としての学術・教育的普及 支援を目的とする。／査読無

研究業績書（大学院生用）

氏名	著書、学術論文等の名称	分担執筆・単著・共著	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
【学術論文】					
只 子涵	災害系リスクと生活系リスクの死者発生数のイメージ — 日本の高校生を対象としたアンケートの分析 —	共著	in printng	関西大学社会安全学部	社会安全学部研究, 第17巻, 近藤誠司・只 子涵, 査読なし (研究ノート)
濱崎 真乃	BCPを補完するための“ジレンマ・ダイアログ演習”の検討 — 大阪府高槻市介護保険事業者協議会における実践事例 —	共著	in printng	日本災害福祉研究会	『災害福祉研究』Vol.2, 濱崎真乃・近藤誠司 (査読有)
八木 亮介	介護サービス受給者に注目した東日本大震災時の気仙沼市における関連死の実態把握	共著	2025年3月21日	地域安全学会	地域安全学会論文集, Vol.46, pp.151-160, 八木亮介, 奥村与志弘 (査読有)
岩本 乃蒼	大学生を対象とした災害報道版クロスロードの試行	共著	2025年4月	関西大学社会安全学部	社会安全学部研究, 第15巻, 近藤誠司・岩本乃蒼, 査読なし (研究ノート) pp.121-128.
	津波避難の“呼びかけコメント”の検討手法に関する考察	共著	in printng	関西大学社会安全学部	社会安全学部研究, 第16巻, 近藤誠司・岩本乃蒼・福本晋悟, 査読なし (研究ノート)
岸上 剛	起業リスクマネジメントの研究 — 企業の成長プロセスにおけるリスクと対応 —	単著	2025年5月	日本リスクマネジメント学会	「危険と管理」第56号 p.240-261 (査読有)
三浦 崇	自治体の情報セキュリティとリスクマネジメント研究「システム思考」アプローチを通じて	単著	2025年3月	日本情報ディレクトリ学会	日本情報ディレクトリ学会誌 第23号, P74-83 (査読有)
	リスクマネジメントプロセスの実践による社内体制構築の一考察	単著	2025年5月	日本リスクマネジメント学会	日本リスクマネジメント学会誌 危険と管理, 第56号, 「アートとリスクマネジメント」, P220-239 (査読有)
グスマンハビエル ブラティミル	Effects of the Workshop for Building Seismic Safety by Introducing the Concept of Rapid Visual Screening: A Case Study in the Dominican Republic	共著	2025年12月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, Vol.16. (印刷中, 2026年3月刊行予定) 共著者: Koji ICHII (査読有)
	Applicability of the Visual Screening for Buildings Safety against Earthquakes ~ A Case study on Hatay, Antakya, Turkey ~	共著	2025年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, Vol.15, pp.89-101. 共著者: Koji ICHII (査読有)
【その他, 論考・研究資料等】					
大野 雅人	「令和6年能登半島地震」が提起する新たなBCPのあり方について	共著	2025年7月15日	リスクマネジメント協会	リスクマネジメント協会『TODAY』年次大会特別号研究論文集2025 15~25頁 中村喜昭, 浅賀喜彦, 大野雅人, 村松真
氏名	発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
【学会発表】					
上野 直人	令和6年能登半島地震における災害関連死認定事例にみる停電影響の実態	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会. A-4-5, 上野直人, 八木亮介, 奥村与志弘, 星野理, 北海道教育大学 (北海道札幌市).
大槻帆乃香	気象現象別にみた風水害死者数の経年変化とその要因分析	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会. A-2-2, 大槻帆乃香, 奥村与志弘, 大野哲之, 北海道教育大学 (北海道札幌市).
久世真侑子	令和6年能登半島地震津波における避難開始行動の特徴分析	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会. A-4-4, 久世真侑子, 奥村与志弘, 高橋佑介, 北海道教育大学 (北海道札幌市).
	令和6年能登半島地震の特徴を踏まえた津波避難開始行動の分析	共同	2025年12月11日	関西大学他	第15回巨天津波災害に関する合同研究集会, 久世 真侑子, 奥村与志弘, 関西大学梅田キャンパス (大阪府大阪市)
ジャラル サミ・ビエール	Disaster Risk Reduction: A Comparative Study of Japan and Morocco, a Mediterranean Country	単独	2025年8月29日	日本リスクマネジメント学会	2025年日本リスクマネジメント学会総合部会アカサ生命札幌本社会議室

社会安全学研究 第16巻

	Comparative Post-Earthquake Reconstruction in Morocco and Japan: Lessons from the 2023 El Haouz and 2024 Noto Disasters	単独	2025年9月27日	日本リスクマネジメント学会	日本リスクマネジメント学会 第50回記念全国大会, 関西大学 高槻ミュージックキャンパス M304
橋本 孔治	上場企業におけるサクセッション・リスク創業者から社内人材への円滑な事業承継メカニズムに関する研究	単独	2025年11月29日	日本リスクマネジメント学会	関東部会, 共催 ソーシャル・リスクマネジメント学会, 専修大学 神田校舎
王 辰越	中国における食育に関する現状と課題の検討	共同	2025年6月15日	日本食育学会	第13回日本食育学会学術大会, 東京栄養食糧専門学校
	A Comparative Study on Food Education Policies and School Lunches in Japan and China: Historical and Social Perspectives	共同	2025年8月8日	International Society of Behavioral Medicine (ISBM)	The 18th International Congress of Behavioral Medicine (ICBM 2025), Vienna Austria
	中国における地域住民に対する食事支援活動 — 常州市の社区食堂の事例から —	共同	2025年9月7日	日本社会医学学会	第66回日本社会医学学会総会, キャンパスプラザ京都
	市町村の食育推進計画の評価 — 自然環境(地勢)とSDGsの観点から —	共同	2025年10月30日	日本公衆衛生学会	第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡県コンベンションアーツセンター
	学校給食献立表の年中比較 — 小学校事例から —	共同	2025年12月7日	日本行動医学学会	第32回日本行動医学学会学術総会, 相模原市立産業会館
黒田さくら	京丹波町における土砂災害に対する早期警戒・避難を啓発する防災番組の共同制作	共同	2025年7月22~25日	地盤工学会	黒田さくら, 小山倫史, 近藤誠司, 西村公貴. 第60地盤工学会研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: 24-12-2-02, pp.1-2 (山口県下関市)
	京丹波町における土砂災害の早期警戒・避難啓発のための防災番組による情報発信の分析.	共同	2025年11月5日	地盤工学会関西支部	黒田さくら, 小山倫史, 近藤誠司, 西村公貴. Kansai Geo-Symposium 2025-地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム-論文集, pp.175-180, 2025 (関西大学, 大阪府吹田市) (査読有り).
呉 開源	「Cash for Work (CfW) プログラム」の発展	共著	2025年11月	日本災害情報学会	第31回日本災害情報学会予稿集, 永松伸吾と共著
染矢 晴加	家具転倒に起因する外傷性骨折および窒息の発生可能性評価方法の検討	共同	2025年9月10日	日本機械学会	日本機械学会2025年度年次大会(札幌市)
原 幸平	常時微動計測を用いた前田利長墓所における令和6年能登半島地震被害の要因分析	共同	2025年7月22~25日	地盤工学会	原幸平, 小山倫史, 佐伯貴之, 田上和彦. 第60地盤工学会研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: DS-9-03, pp.1-2 (山口県下関市)
	三次元点群データを用いた差分解析による前田利長墓所の地震後の変状分析	共同	2025年7月22~25日	地盤工学会	小山倫史, 原幸平, 佐伯貴之, 田上和彦. 第60地盤工学会研究発表会講演概要集, 2025, Paper ID: DS-9-02, pp.1-2 (山口県下関市)
	常時微動計測を用いた令和6年能登半島地震における高岡城石垣被害の要因分析.	共同	2025年9月8~12日	土木学会	原幸平, 小山倫史, 佐伯貴之, 田上和彦. 土木学会第80回年次学術講演会講演概要集, 2024, Paper ID: 11AM1-Vo-05, pp.1-2 (熊本県熊本市)
	2024年能登半島地震で被災した金沢城跡御居間先下石垣の変形要因と変形進展に関する調査事例.	共同	2025年9月18~19日	日本自然災害学会	山中稔, 小山倫史, 中澤博志, 原幸平. 第44回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, paper ID: A-7-4, pp. 1-2 (北海道札幌市).
	令和6年能登半島地震による高岡城石垣の変状分析	共同	2025年11月5日	地盤工学会関西支部	原幸平, 小山倫史, 田上和彦, 佐伯貴之. Kansai Geo-Symposium 2025 — 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム — 論文集, pp.32-35, 2025. (関西大学, 大阪府吹田市) (査読有り).
八木 亮介	令和6年能登半島地震における災害関連死認定事例にみる停電影響の実態	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会. A-4-5, 上野直人, 八木亮介, 奥村与志弘, 星野理, 北海道教育大学(北海道札幌市).
李 昊程	中国における地震災害と交通事故の発生状況に関する横断的分析	共同	2025年9月18日	自然災害学会	第44回自然災害学会学術講演会. A-2-1, 李昊程, 奥村与志弘, 北海道教育大学(北海道札幌市).

研究業績書（大学院生）

岩本 乃蒼	災害報道の評価手法に関する研究 長野県千曲川水害の被災経験者を対象とした「防災・復興曲線」調査の続報	共著	2025年10月12日	日本災害復興学会	日本災害復興学会大会2025阪神大会，関西学院大学，岩本乃蒼・近藤誠司
大野 雅人	東京一極集中のリスクマネジメントによるWell-Being向上	単独	2025年6月21日	日本リスクマネジメント学会	2025年日本リスクマネジメント学会関西部会 関西大学千里山キャンパス第2学舎 C507
	アクサ生命札幌本社移転の効果 — 現場の視点 —	単独	2025年8月29日	日本リスクマネジメント学会	2025年日本リスクマネジメント学会総合部会 アクサ生命札幌本社会議室
三浦 崇	情報セキュリティ・リスクマネジメント体制の構築	単独	2025年8月29日	日本リスクマネジメント学会	総合部会，アクサ生命 札幌本社
グスマンハビエル ブラティミル	Comparison of Results of Seismic Safety Exercises in the Dominican Republic and Japan	共同	2025年5月16日	6ACUDR	6th Asian Conference on Urban Disaster Reduction, Kobe, 口頭発表者：GUZMAN Vladimir
浦山 郁	効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価の手引きの開発について	共同	2025年9月11日	日本原子力学会	日本原子力学会 2025年秋の大会，北九州国際会議場/AIM（竹田宜人・土田昭司・桑垣玲子・堀越秀彦・浦山郁）
	コロナ禍におけるリスクの曖昧さへの認識の変化：経時的調査における自由記述内容の再分析	共同	2025年11月8日	日本リスク学会	日本リスク学会第38回年次大会，大阪大学吹田キャンパス（浦山郁・土田昭司）
	「リスクコミュニケーションの評価の手引き」開発の進捗状況について	共同	2025年11月9日	日本リスク学会	日本リスク学会第38回年次大会，大阪大学吹田キャンパス（土田昭司・竹田宜人・桑垣玲子・堀越秀彦・藤井中・静間健人・浦山郁）
	リスクコミュニケーション事例研究 TG の活動から見えてきたもの	共同	2025年11月9日	日本リスク学会	日本リスク学会第38回年次大会，大阪大学吹田キャンパス（竹田宜人・桑垣玲子・土田昭司・堀越秀彦・藤井中・静間健人・浦山郁・松永陽子）
【招待講演】					
濱崎 真乃	実用的なBCP作成に向けて ～防災対策部会主催研修会の報告～	共同	2025年11月21日	高槻市介護保険事業者協議会	高槻市介護保険事業者協議会実践発表会
大野 雅人	アクサ40年の軌跡とDNA 危機に学び，機会に変える経営	共同	2025年12月9日	関西大学東西学術研究所	アートと感性・健康 東西比較研究班 研究例会 第一部 関西大学社高槻ミュージックキャンパス ミューズホール
	アクサ生命は，なぜ札幌に本社機能を分散し，2本社制にしたか	共同	2025年12月16日	関西大学東西学術研究所	アートと感性・健康 東西比較研究班 研究例会 第二部 関西大学社高槻ミュージックキャンパス ミューズホール
グスマンハビエル ブラティミル	『災害の常識とは？ 外国と日本の比較からあらためて考える』 “What is common knowledge about disasters? Thinking again by comparing Japan with other countries”	共同	2025年6月28日	(公財)京都市国際交流協会	～kokoka防災訓練・KPIC 災害時外国人サポーター研修～，植田 利江子氏との共同講演
【司会・その他】					
三浦 崇	日本リスクマネジメント学会 関西部会 総合司会	単独	2025年6月21日	日本リスクマネジメント学会	関西大学 千里山キャンパス 第二学舎
以下，フリー記入					
【所属学会】					
呉 き	地区防災計画学会				
ジャラル サミ・ビエール	日本リスクマネジメント学会				
橋本 孔治	日本リスクマネジメント学会				
王 辰越	日本食育学会				
	日本社会医学会				
	日本公衆衛生学会				
	日本行動医学会				
黒田さくら	地盤工学会				
染矢 晴加	日本機械学会				
濱崎 真乃	災害福祉研究会				
	地区防災計画学会				

原 幸平	土木学会 地盤工学会
岩本 乃蒼	日本災害復興学会 日本災害情報学会
大野 雅人	日本リスクマネジメント学会 ソーシャル・リスクマネジメント学会 日仏経営学会 日本都市計画学会 地域活性学会 日本気象学会
岸上 剛	一般社団法人日本開発工学会 日本リスクマネジメント学会 日本中小企業学会
三浦 崇	日本リスクマネジメント学会 ソーシャル・リスクマネジメント学会 日本情報ディレクトリ学会
野元 颯馬	日本災害情報学会 地域安全学会
浦山 郁	日本原子力学会 日本社会心理学会 日本リスク学会
【社会貢献活動】	
大野 雅人	国立大学法人秋田大学大学院理工学研究科 非常勤講師 2025年4月4日～2025年9月28日 北海道土幌町SDGsアンバサダー 2024年7月～現在 国土交通省北海道開発局「クライシスコミュニケーションセミナー」講師 2025年10月10日
岸上 剛	毎年の会社決算時に1年間の経常収支の1%を日本赤十字社へ寄付
浦山 郁	環境省、令和6年度放射線健康管理・健康不安対策事業、「効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価手法の開発・検証及び社会実装に向けた提案（代表：土田昭司）」研究協力者 （一般社団）日本リスク学会、「リスクコミュニケーション事例研究」タスクグループ・メンバー （一般社団）日本リスク学会、日本リスク学会第38回年次大会 大会実行委員 2024年度京都橘大学健康科学研究科FD研修会、話題提供
【その他業績として記載を希望する事項】	
久世真侑子	番組企画出演 FM大阪、西岡ゼミ（商学部）×奥村ゼミ（社会安全学部）『東洋テック presents「関大革命～一歩先の防災～」』（番組：intense! [16:00-18:20] 内コーナー、毎月第3水曜日17時台後半担当、生放送） 第2回：R07.05.21 第7回：R07.10.15
大野 雅人	関西大学 東西学術研究所 アートと感性・健康 東西比較研究班 準研究員 （財）リスクマネジメント協会会員 （社）日本気象予報士会会員 （社）レジリエンス協会会員 日本防災士機構会員
岸上 剛	関西大学 東西学術研究所 アートと感性・健康 東西比較研究班 準研究員
三浦 崇	関西大学 東西学術研究所 アートと感性・健康 東西比較研究班 準研究員
グスマンハビエル ブラティミル	6th Asian Conference on Urban Disaster Reductionでは、優秀発表賞を受賞
野元 颯馬	大精協看護専門学校 看護科（情報の科学 [非常勤講師]） 大阪保健福祉専門学校 社会福祉科（心理学の基礎 [非常勤講師]）
浦山 郁	京都橘大学 総合心理学部総合心理学科 助教 甲南女子大学 人間科学部心理学科（心理調査法実習、心理学統計法Ⅱ [非常勤講師]） 神戸親和大学（神戸親和女子大学）文学部心理学科/国際文化学科（情報と統計、心理学実験・実習B [非常勤講師]）